

資 料

資料 1 調査団員氏名、所属

(1) 現地調査Ⅰ（平成 23 年 6 月 25 日～8 月 3 日）

氏名	業務内容	所属
丹原 一広	団長	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課 課長
吉澤 博幸	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
横堀 淳一	副業務主任／建築設計Ⅰ	株式会社 毛利建築設計事務所
榎本 久美子	建築設計Ⅱ	株式会社 毛利建築設計事務所
糸川 伸司	施工計画／調達計画／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
田口 順子	教育計画	株式会社 毛利建築設計事務所
コルソーバー知子	建築設計Ⅲ（自主補強）	株式会社 毛利建築設計事務所
山本 晋一	建築設計Ⅳ（自主補強）	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 広美	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(2) 現地調査Ⅱ 概要説明（平成 23 年 12 月 10 日～12 月 23 日）

氏名	業務内容	所属
柴田 和直	総括／団長	JICA セネガル事務所 次長
丸山 隆央	計画管理	JICA セネガル事務所 所員
吉澤 博幸	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
横堀 淳一	副業務主任／建築設計Ⅰ	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 広美	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(3) 現地調査Ⅲ 入札図書作成参考資料(案)説明（平成 24 年 4 月 3 日～4 月 27 日）

氏名	業務内容	所属
吉澤 博幸	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
横堀 淳一	副業務主任／建築設計Ⅰ	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 広美	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

資料2 調査行程

(1) 現地調査 I (平成23年6月25日～8月3日)

日時	菅田員									
	総括、計画管理	a	b	c	d	e	f	g	h	
	丹原 一広	吉澤 博幸	横堀 淳一	榎本 久美子	桑川 伸司	田口 順子	田中 広美	コルソバー知子	山本晋一	
	7日間	40日間	40日間	29日間	29日間	38日間	39日間	15日間	7日間	
1	2011/6/25	土	成田21:55発→04:15(V)				成田21:55発→04:15(V)	バマコ→ダカール		
2	2011/6/26	日	バ(1)16:20→19:55ダカール着				バ(1)16:20→19:55ダカール着	資料整理		
3	2011/6/27	月	JICA事務所表敬、教育省企画改革局(OPRE)との打合せ				aに同行	aに同行		
4	2011/6/28	火	ダカール→ルーガ、ルーガ州IAと協議(要請校校込み)				同上	同上		
5	2011/6/29	水	ルーガ州IAとの打合せ、ルーガ→カオラック				同上	同上		
6	2011/6/30	木	カオラック州IAと協議(要請校校込み) カオラック→ダカール				同上	同上		
7	2011/7/1	金	国内打合せ 再委託関連調査、建築設計、教育関連調査				同上	同上		
8	2011/7/2	土	羽田00:35発→06:20(V) バ(1)16:20→19:55ダカール着	同上			同上	同上		
9	2011/7/3	日	国内打合せ				国内打合せ			
10	2011/7/4	月	JICAセネガル事務所訪問、打合せ 経済財政省 経済財政協力局長との協議	再委託関連調査、建築設計 関連調査	成田21:55発→04:15(V)		aに同行	aに同行		
11	2011/7/5	火	教育省協議	同上	バ(1)16:20→19:55ダカール着		同上	同上		
12	2011/7/6	水	AFD訪問	同上	建築設計関連調査	積算関連調査	同上	同上		
13	2011/7/7	木	カナダ大使館訪問 ミニッツ署名	同上	同上	同上	同上	同上		
14	2011/7/8	金	経済財政省 経済財政協力 局長ミニッツ署名 在セ日本大使館表敬、報告 調査報告(JICAセネガル事務 所) ダカール22:35発	経済財政省 経済財政協力 局長ミニッツ署名 在セ日本大使館表敬、報告 調査報告(JICAセネガル事務 所)	同上	同上	同上	教育関連調査(ダカール)	同上、eに同行	
15	2011/7/9	土		サイト調査準備						
16	2011/7/10	日		ダカール→ルーガ	ダカール→ルーガ	ダカール→ルーガ	ダカール→ルーガ	ダカール→ルーガ	ダカール→ルーガ	
17	2011/7/11	月		サイト調査(ルーガ州)	aに同行	サイト調査(ルーガ州)	cに同行	教育関連調査(ルーガ州)	aに同行	
18	2011/7/12	火		同上	同上	同上	同上	同上	同上	
19	2011/7/13	水		同上	同上	同上	同上	同上	同上	
20	2011/7/14	木		同上	同上	同上	同上	同上	同上	
21	2011/7/15	金		同上	同上	同上	同上	同上	同上	成田発→バ(1)
22	2011/7/16	土		同上	同上	同上	同上	同上	同上	バマコ→ダカール
23	2011/7/17	日		ルーガ→カオラック						ダカール→カオラック
24	2011/7/18	月		サイト調査(カオラック州)	aに同行	サイト調査(カオラック州)	cに同行	教育関連調査(カオラック 州)	aに同行	aに同行
25	2011/7/19	火		同上	カオラック→ダカール 建築関連調査	同上	同上	同上	同上	bに同行
26	2011/7/20	水		同上	建築関連調査	同上	同上	同上	同上	同上
27	2011/7/21	木		同上	ダカール→カオラック	同上	同上	同上	同上	ダカール→バマコ
28	2011/7/22	金		同上	aに同行	同上	同上	同上	cに同行	同上
29	2011/7/23	土		同上 カオラック→ダカール	同上	同上 カオラック→ダカール	同上	同上 カオラック→ダカール	同上	同上
30	2011/7/24	日		資料整理						
31	2011/7/25	月		教育省協議/建築関連調査	教育省協議/建築関連調査	建築設計関連調査	積算関連調査	教育関連調査	aに同行	aに同行
32	2011/7/26	火		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
33	2011/7/27	水		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
34	2011/7/28	木		同上	同上	同上	同上	同上	同上	ダカール発
35	2011/7/29	金		テクニカルノート署名	テクニカルノート署名	同上	同上	同上	同上	→バ(1)
36	2011/7/30	土		建築設計関連調査			同上、ダカール22:35発	aに同行		→成田着
37	2011/7/31	日		資料整理			→06:00(バ)13:30→	資料整理		
38	2011/8/1	月		建築関連調査、ダカール23:35発			→08:00成田着	aに同行		
39	2011/8/2	火		→07:00(バ)13:30→						→07:00(バ)13:30→
40	2011/8/3	水		→08:00成田着						→08:00成田着

(2) 現地調査Ⅱ 概要説明 (平成23年12月10日～23日)

日時			官団員	官団員	a	b	c
			総括/団長	計画管理	業務主任/施設計画	副業務主任/建築設計I	通訳
			セネガル事務所 柴田 和直	セネガル事務所 丸山 隆央	吉澤 博幸	横堀 淳一	田中 広美
			3日間	3日間	14日間	14日間	14日間
1	2011/12/10	土			成田発21:55(AF277)→		
2	2011/12/11	日			→パリ着4:20 パリ発16:55(AF718)→ダカール着21:05		
3	2011/12/12	月			表敬(JICA)、再委託業務(入札参考資料)	alに同行	
4	2011/12/13	火			ルーガ州へ移動 ルーガ州へ概要説明	同上	
5	2011/12/14	水			カオラック州へ移動 カオラック州へ概要説明	同上	
6	2011/12/15	木			再委託業務(入札参考資料)、補足調査	同上	
7	2011/12/16	金			同上	同上	
8	2011/12/17	土			再委託業務(入札参考資料)	同上	
9	2011/12/18	日			資料整理		
10	2011/12/19	月	教育省表敬、ミニッツ協議			再委託業務(地盤調査)	同上
11	2011/12/20	火	ミニッツ協議			再委託業務(地盤調査)	同上
12	2011/12/21	水	ミニッツ署名準備		ダカール発23:40(AF719)→		同上
13	2011/12/22	木	ミニッツ署名		→パリ着6:05 パリ発13:35(AF276)→		
14	2011/12/23	金			→成田着9:10		

(3) 現地調査Ⅲ 入札図書作成参考資料(案)説明 (平成24年4月3日～4月27日)

日時			a	b	c
			業務主任/施設計画	副業務主任/建築設計I	通訳
			吉澤博幸	横堀淳一	田中広美
			14日間	14日間	13日間
1	4/3	火		成田発⇒ドバイ	
2	4/4	水		ドバイ⇒ダカール着	
3	4/5	木		入札参考資料まとめ	
4	4/6	金		同上	
5	4/7	土		同上	
6	4/8	日		資料整理	
7	4/9	月		入札参考資料まとめ	
8	4/10	火		同上	
9	4/11	水		同上	
10	4/12	木		同上	
11	4/13	金		同上	
12	4/14	土	成田発⇒パリ	同上	前調査案件⇒パリ着
13	4/15	日	パリ⇒ダカール着	資料整理	パリ⇒ダカール着
14	4/16	月	JICA表敬	alに同行	alに同行
4	4/17	火	教育省(表敬、入札参考資料説明)		同上
5	4/18	水	ルーガIA & IDEN(入札参考資料説明)		同上
6	4/19	木	カオラックIA & IDEN(入札参考資料説明)		同上
7	4/20	金	補足調査		同上
8	4/21	土	同上		同上
9	4/22	日	資料整理		資料整理
10	4/23	月	テクニカルノート協議		alに同行
11	4/24	火	テクニカルノート署名 JICA、大使館報告、他ドナー訪問		同上
12	4/25	水	ダカール発		ダカール発
13	4/26	木	⇒パリ⇒		⇒パリ⇒
14	4/27	金	⇒成田		⇒成田

資料3 関係者(面会者)リスト

初等・中等教育・国語担当教育省 (Ministère de l'Enseignement Élémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales)

氏名	所属	役職
M. Mafakha TOURE	—	事務次官
M. Djibril Ndiaye DIOUF	教育企画改革局 (DPRE)	局長
M. Idrissa BALDE	DPRE	計画課 課長
M. Ibrahima CISS	DPRE	建設計画モニタリング課 課長
M. Amadou Gueye SEYE	DPRE	スクールマップ課 課長
M. Ousmane BASS	DPRE	学校統計課 課長
M. Elhadji NDIAYE	モニタリング室	室長
M. Mame Moussé NDOYE	総務機材局 (DAGE)	前々局長
M. Adama DIOUARA	総務機材局 (DAGE)	前局長
M. Cheikh GAYE	総務機材局 (DAGE)	局長
M. Mamadou DIA	DAGE	調達課長
M. Ousmane DIOP	学校建設局 (DCS)	局長
M. Mamadou WONE	学校機材局 (DEqSc)	局長
M. Sambe Yeis DIOP	初等教育局 (DEE)	視学官
M. Ibrahima NDOUR	中等教育局 (DEMSG)	局長
M. Abdoulaye Djiby TALL	DEMSG	カリキュラム課長
M. Mandione MBENGUE	研修コミュニケーション局	副局長
M. Moustapha TOURE	基礎教育カリキュラム常設 事務局	局長
M. Baba Yacine NDIAYE	試験・入試局	局長

州視学官事務所 (Inspections d'Académie : IA)

M. Lamine SARR	ルーガ州視学官事務所	総視学官
M. Boubacar SOW	ルーガ州視学官事務所	副総視学官
M. Mor DIENG	ルーガ州視学官事務所	計画担当官
M. Maurice Ndiné WARORE	カオラック州視学官事務所	前総視学官
M. Faye NGARY	カオラック州視学官事務所	総視学官
M. Mbaye BABOU	カオラック州視学官事務所	副総視学官
M. Mbaye SECK	カオラック州視学官事務所	計画担当官

県視学官事務所 (Inspections Départementales de l'Education Nationale: IDEN)

M. Hamady KEBE	ルーガ県視学官事務所	県視学官
M. Cheikhou Hmadou THIAM	ルーガ県視学官事務所	計画担当官
M. Ibrahima LO	リンゲール県視学官事務所	計画担当官
M. Birane TINE	ケベメール県視学官事務所	県視学官
M. Djibril BA	ケベメール県視学官事務所	計画担当官
M. Momath DRAME	ニオロ県視学官事務所	県視学官
M. Souleymane DIARISSO	ニオロ県視学官事務所	視学官
M. Elhadji Malick SY	ニオロ県視学官事務所	計画担当官
M. Abdoulaye Alpha NIASSE	ギンギネオ県視学官事務所	計画担当官
M. Alioune Sylla SECK	カオラック県視学官事務所	県視学官
M. Ibrahima SENE	カオラック県視学官事務所	計画担当官
M. Ibrahima SEYDI	カオラック市視学官事務所	県視学官
M. Mamadou MANE	カオラック市視学官事務所	計画担当官

経済財務省 (Ministère de l' Economie et des Finances)

M. Massar WAGUE	経済財政協力局	局長
Mme Fanta Seck SAKHO	経済財政協力局	プログラム担当

都市住宅建設省 (Ministère de l' Urbanisme, de l' Habitat, de la Construction et de l' Hydraulique)

M. Mohamed BA	建設局	
---------------	-----	--

カナダ大使館 (Ambassade du Canada)

Mr. Ivan ROBERTS	参事官 (協力担当)	
Mme Marie-Eve FORTIN	二等書記官	

フランス開発機構 (Agence Française de Développement: AFD)

M. Jean-Christophe PECRESSE	次長	
M. Ibrahima DIALLO	職員	
M. Daniel DUPETY	コンサルタント	

USAID

M. Rape Momar SOW	教育チーム	チームリーダー
-------------------	-------	---------

ドイツ復興金融公庫 (KFW)

Mme Mariéme KANE	-	プログラム・アシスタント
------------------	---	--------------

NGO

M. Diodio NDIAYE	ANAFI	総務・財務・プロジェクト監理担当
M. Ibra SENE	CEDEN	代表
M. Ousmane DIALLO	Aide et Action	国内事務所コーディネーター

在セネガル日本大使館

小野 知之	一等書記官	
淡川 貴夫	二等書記官	
番浦 剛正	二等書記官	
濱田 幸		

JICA セネガル事務所

大久保 久俊	所長	
梅本 真司	前次長	
柴田 和直	次長	
丸山 隆央	所員	

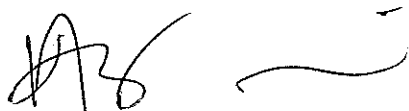
**PROCES VERBAL DES DISCUSSIONS
RELATIVES A
L'ETUDE PREPARATOIRE DU
PROJET DE RENFORCEMENT DES CAPACITÉS D'ACCUEIL ET
D'AMÉLIORATION DE L'ENVIRONNEMENT SCOLAIRE
DANS L'ENSEIGNEMENT ÉLÉMENTAIRE ET MOYEN
DANS LES RÉGIONS DE LOUGA ET KAOLACK
EN RÉPUBLIQUE DU SÉNÉGAL**

En réponse à la requête présentée par le gouvernement de la République du Sénégal (ci-après désignée « le Sénégal »), le gouvernement du Japon a décidé d'effectuer une étude préparatoire de la coopération pour le « Projet de renforcement des capacités d'accueil et d'amélioration de l'environnement scolaire dans l'enseignement élémentaire et moyen dans les régions de Louga et Kaolack » (ci-après désigné « le Projet ») et a confié la mise en œuvre de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

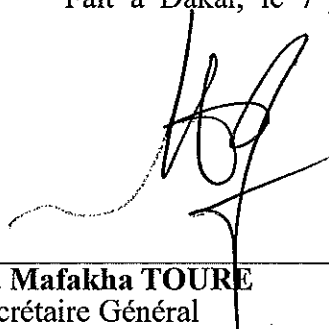
La JICA a envoyé au Sénégal une mission d'étude préparatoire dirigée par Monsieur Kazuhiro TAMBARA, Directeur de la 2^{ème} Section d'enseignement de base, Groupe d'enseignement de base, Département de développement humain de la JICA (ci-après désignée « la Mission »), qui y séjournera du 25 juin au 1^{er} août 2011.

A l'issue des discussions avec les différentes parties prenantes et de l'étude sur le terrain, les deux parties ont confirmé les principaux éléments indiqués dans l'Appendice.

Fait à Dakar, le 7 juillet 2011



M. Kazuhiro TAMBARA
Chef de Mission
Étude préparatoire
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (JICA)
Japon



M. Mafakha TOURE
Secrétaire Général
Ministère de l'Enseignement Élémentaire,
du Moyen Secondaire et des Langues
Nationales
République du Sénégal



M. Massar WAGUE
Directeur de la Coopération Economique
et Financière
Ministère de l'Economie et des Finances
République du Sénégal

APPENDICE

1. Objectif du Projet

L'objectif du présent Projet est d'améliorer l'accès à l'enseignement de base et l'environnement scolaire de l'enseignement élémentaire et du moyen dans les régions de Louga et de Kaolack, à travers l'extension/remplacement des infrastructures scolaires et l'approvisionnement du mobilier scolaire.

2. Organisme responsable et organisme d'exécution du Projet du pays bénéficiaire

- 2.1. L'organisme responsable du Projet est la Direction de la Planification et de la Réforme de l'Education (DPRE) du Ministère de l'Enseignement Élémentaire, du Moyen Secondaire et des Langues Nationales du Sénégal.
- 2.2. L'organisme d'exécution du Projet est la Direction de l'Administration Générale et de l'Équipement (DAGE) du Ministère de l'Enseignement Élémentaire, du Moyen Secondaire et des Langues Nationales du Sénégal. La Direction de la Construction Scolaire (DCS) et la Direction des Equipements Scolaires (DEqSc) dudit ministère collaboreront au Projet lors de sa mise en œuvre.

3. Sites faisant l'objet du Projet

- 3.1. Les sites faisant l'objet du Projet se situent dans les régions de Louga et de Kaolack.
- 3.2. Concernant les écoles cibles du Projet, la partie sénégalaise a consenti à ce que la sélection des sites soit faite par la partie japonaise parmi les établissements figurant dans la liste indiquée en **Annexe 1**, selon l'ordre de priorité mentionné dans ladite liste, et en fonction des résultats de l'analyse effectuée au Japon à la suite de la présente étude.

4. Composantes du Projet

- 4.1. A l'issue des discussions, les composantes suivantes ont été présentées comme requête définitive par la partie sénégalaise : salle de classe, bloc administratif, bloc d'hygiène et mobilier scolaire. Les deux parties ont consenti que la salle spécialisée et l'équipement scolaire ne font pas l'objet du Projet.
- 4.2. Les deux parties se sont mises d'accord pour donner la priorité à la construction de salles de classe et à l'approvisionnement du mobilier scolaire (tableau noir, table banc). D'autres composantes sollicitées par la partie sénégalaise (bloc d'hygiène et bloc administratif) seront examinés sur la base des résultats de l'étude des sites. En cas de nouvelle construction, le paquet complet (salle de classe et mobilier scolaire, y compris bloc d'hygiène et bloc administratif) sera à planifier.
- 4.3. Pour ce qui concerne les sites nécessitant un point d'eau et/ou le mur clôture, la partie sénégalaise prendra en charge leur construction.

4.4. La nécessité et le plan de mise en œuvre des composantes soft seront examinés suite aux résultats de l'étude.

5. Système de la coopération financière non remboursable du Japon

5.1. La partie sénégalaise a pris bonne connaissance du système de la coopération financière non remboursable pour le développement communautaire du Japon, mentionné dans les **Annexes 4, 5, 6 et 7**.

5.2. La partie sénégalaise prendra des mesures nécessaires comme mentionnées dans l'**Annexe 8** pour un bon déroulement du Projet, au cas où le Projet serait exécuté dans le cadre de l'Aide financière non remboursable du Japon.

6. Cadre de la mise en œuvre du Projet

La Mission a donné des explications sur le cadre de la mise en œuvre du Projet comme suit :

6.1. Après l'approbation de l'aide financière non remboursable par le Conseil des ministres au Japon, l'Echange de Notes (E/N) sera signé entre le gouvernement du Japon et le gouvernement du Sénégal, puis l'Accord de Don (A/D) entre la JICA et le gouvernement du Sénégal. L'Accord de Don (A/D) détermine les dispositions nécessaires pour la mise en œuvre du Projet, telles que les conditions de paiement, les obligations du pays bénéficiaire et les conditions d'approvisionnement, etc.

6.2. Après la signature de l'Echange de Notes (E/N) et de l'Accord de Don (A/D), le gouvernement sénégalais conclura l'Accord d'Agent avec l'Agent d'approvisionnement japonais.

7. Comité consultatif

7.1. Les deux parties ont consenti à la mise en place du comité consultatif composé des représentants des organismes concernés sénégalais et de la JICA en vue d'un bon déroulement du Projet. Les membres de ce comité sont les suivants :

- (1) Représentants du Ministère de l'Enseignement Elémentaire, du Moyen Secondaire et des Langues Nationales.
- (2) Représentants du Ministère de l'Economie et des Finances.
- (3) Représentants du Bureau de la JICA au Sénégal.

7.2. Le comité consultatif sera convoqué régulièrement afin de discuter tous les points suggérés en rapport avec le Projet, tels que l'état d'avancement, les points techniques à vérifier et ceux de l'approvisionnement.

8. Calendrier de l'étude (projet)

- 8.1. La Mission poursuivra l'étude jusqu'au 1^{er} août 2011 pour confirmer les spécifications techniques des composantes, vérifier l'état de présentation des attestations de la propriété des terrains, et collecter des informations nécessaires. Ces résultats seront rapportés dans les notes techniques.
- 8.2. Sur la base des résultats de l'étude au Sénégal, la Mission procédera à l'analyse au Japon jusqu'au mois de novembre environ. La JICA enverra au Sénégal une mission d'étude d'explication du projet de rapport de l'étude préparatoire vers le mois de décembre 2011.
- 8.3. Après la deuxième analyse au Japon, la Mission se rendra au Sénégal vers le mois d'avril 2012 afin d'expliquer le document de référence pour l'appel d'offres.
- 8.4. La Mission a expliqué que le calendrier mentionné ci-dessus pourrait être modifié en fonction du plan budgétaire du gouvernement du Japon, et la partie sénégalaise l'a accepté.

9. Autres points discutés

- 9.1. La partie sénégalaise devra gérer et maintenir de façon appropriée les infrastructures scolaires qui seront construits dans le cadre du Projet.
- 9.2. La partie sénégalaise s'est engagée à affecter des enseignants adéquatement après la mise en œuvre du Projet.
- 9.3. La partie sénégalaise s'est engagée à prendre des mesures de sécurité suffisantes en faveur des ressortissants japonais concernés du présent Projet.
- 9.4. La partie sénégalaise s'est engagée à fournir les données, les informations et les documents nécessaires pour la présente étude.
- 9.5. La partie sénégalaise s'est engagée à fournir les documents attestant l'attribution légale de terrains des écoles concernées (plan cadastral, acte de délibération ou attestation délivrée par la collectivité locale) auprès de la Mission ou du Bureau de la JICA au Sénégal avant le 23 juillet 2011.
- 9.6. Le per diem ainsi que les frais de transport et d'hébergement des personnels sénégalais pour la mise en œuvre de l'étude et du projet, seront pris en charge par la partie sénégalaise.
- 9.7. En ce qui concerne l'intitulé du projet, les deux parties se sont mises d'accord pour le changer, de « Projet de renforcement des capacités d'accueil d'amélioration d'environnement scolaire dans l'enseignement élémentaire et moyen dans les régions de Louga et Kaolack » en « Projet de construction de salles de classe pour l'enseignement élémentaire et moyen dans les régions de Louga et de Kaolack » en vue de l'adopter au mieux aux circonstances réelles.



- Annexe 1** : Liste des écoles demandées et ordre de priorité
- Annexe 2** : Plans de localisation des écoles demandées
- Annexe 3** : Critères de sélection des sites faisant l'objet du Projet
- Annexe 4** : Aperçu du système de coopération financière non remboursable pour le développement communautaire
- Annexe 5** : Schéma d'exécution de l'Aide financière non remboursable pour le développement communautaire
- Annexe 6** : Procédures relatives à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire
- Annexe 7** : Circuit du fonds relatif à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire
- Annexe 8** : Principales mesures à prendre par chaque gouvernement



Liste des Ecoles Retenues LOUGA

ID	N°	IDEN	Collectivité locale	Etablissement
LO-08M	1	Linguère	Comm Dahra	CEM FA DE DAHRA
LO-09M	2	Linguère	CR Dodji	CEM KADJI MADIA
LO-10M	3	Linguère	CR Dodji	CEM DODJI
LO-11M	4	Linguère	CR Déaly	CEM DEALY
LO-12M	5	Linguère	Comm Dahra	CEM DAHRA COMMUNE
LO-13M	6	Linguère	CR Barkédji	CEM BARKEDJI
LO-01	7	Linguère	Com Dahra	DAHRA MONTAGNE
LO-02	8	Linguère	Com Linguère	LINGUERE 5
LO-14M	1	Louga	Comm Louga	CEM TOUBA SERAS
LO-15M	2	Louga	CR Sakal	CEM BARALE
LO-16M	3	Louga	Comm Louga	CEM LOUGA COMMUNE 2
LO-17M	4	Louga	Koki	CEM KOKI
LO-18M	5	Louga	CR Keur Momar Sarr	CEM KEUR MOMAR SARR
LO-19M	6	Louga	CR Pété Ouarack	CEM PETE OUARACK
LO-03	7	Louga	Comm Louga	FA Montagne Nord
LO-04	8	Louga	CR Nguer Malal	Nayobé
LO-20M	1	Kébémér	CR Darou Mousty	CEM KANENE NDIQB
LO-21M	2	Kébémér	CR Darou Mousty	CEM DAROU MOUSTY 2
LO-22M	3	Kébémér	Comm Kébémér	CEM KEBEMER 2
LO-23M	4	Kébémér	Comm Kébémér	CEM FA DE KEBEMER
LO-24M	5	Kébémér	CR Diokoul Diawrigne	CEM DIOKOUL
LO-25M	6	Kébémér	CR Sagatta Gueth	CEM SAGATTA GUETH
LO-05	7	Kébémér	CR Ngourane	FA Ngourane
LO-06	8	Kébémér	CR Ndande	Ndande 5
LO-07	9	Kébémér	CR Darou mousty	Mbéguéré

NB: le Numero correspond a l'ordre de priorite dans chaque IDEN

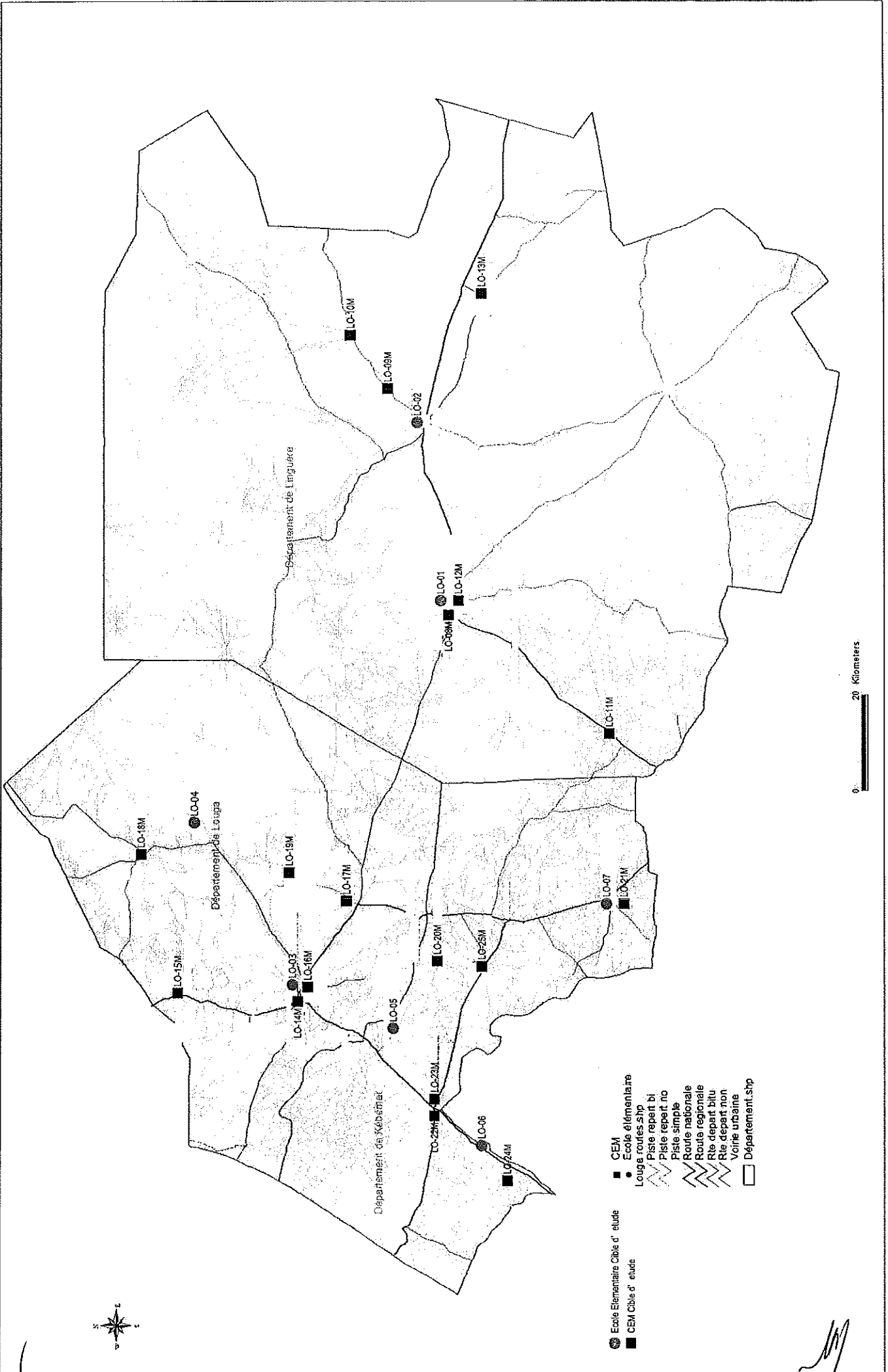
Liste des Ecoles Retenues KAOLACK

ID	N°	IDEN	Collectivité locale	Etablissement
KA-01M	1	Kaolack-Départ	CR Thiaré	CEM THIARE
KA-02M	2	Kaolack-Départ	CR Keur Baka	CEM KEUR BAKA
KA-03M	3	Kaolack-Départ	CR Latmingué	CEM KOUMBAL
KA-04M	4	Kaolack-Départ	CR Ndiafate	CEM THIOFFIOR
KA-05M	5	Kaolack-Départ	COM NDOFFANE	CEM NDOFFANE
KA-06M	6	Kaolack-Départ	CR Ndiebel	CEM KEUR BAGNE DIOP
KA-07M	7	Kaolack-Départ	CR Latmingué	CEM KEUR ALY BASSINE
KA-08M	1	Guinguinéo	CR NDIAGO	CEM NDIAGO
KA-09M	2	Guinguinéo	CR NGATHIE	CEM NGATHIE
KA-10M	3	Guinguinéo	CR NGATHIE	CEM NGOLOUM
KA-11M	4	Guinguinéo	CR OUROUR	CEM FASS
KA-12M	5	Guinguinéo	CR OUROUR	CEM COLOBANE MANDE
KA-13M	6	Guinguinéo	CR GAGNICK	CEM OUROUR
KA-14M	7	Guinguinéo	CR KHELCOM	CEM SATE WALY
KA-15M	8	Guinguinéo	COM GUINGUINEO	NOUVEAU CEM DE GUINGUINEO
KA-16M	1	Nioro du Rip	GAINTH KAYES	CEM MISSIRAH NIORO
KA-17M	2	Nioro du Rip	GAINTH KAYES	CEM GAINTH KAYES
KA-18M	3	Nioro du Rip	MEDINA SABAKH	CEM KEUR AYIB POSTE
KA-19M	4	Nioro du Rip	COMMUNE NIORO	CEM DAROU SALAM
KA-20M	5	Nioro du Rip	PAOSKOTO	CEM DE GAPAKH
KA-21M	6	Nioro du Rip	PROKHANE	CEM KEUR MOUSSA FRONTIERE
KA-22M	7	Nioro du Rip	PAOSKOTO	CEM DE KABACOTO
KA-23M	1	Kaolack-com	Com Kaolack	CEM/ NDANGANE
KA-24M	2	Kaolack-Com	Com Kaolack	CEM CAMP DE GARDE
KA-25	3	Kaolack-Com	Com Kaolack	FA SAM (Elémentaire)

NB: le Numero correspond a l'ordre de priorite dans chaque IDEN

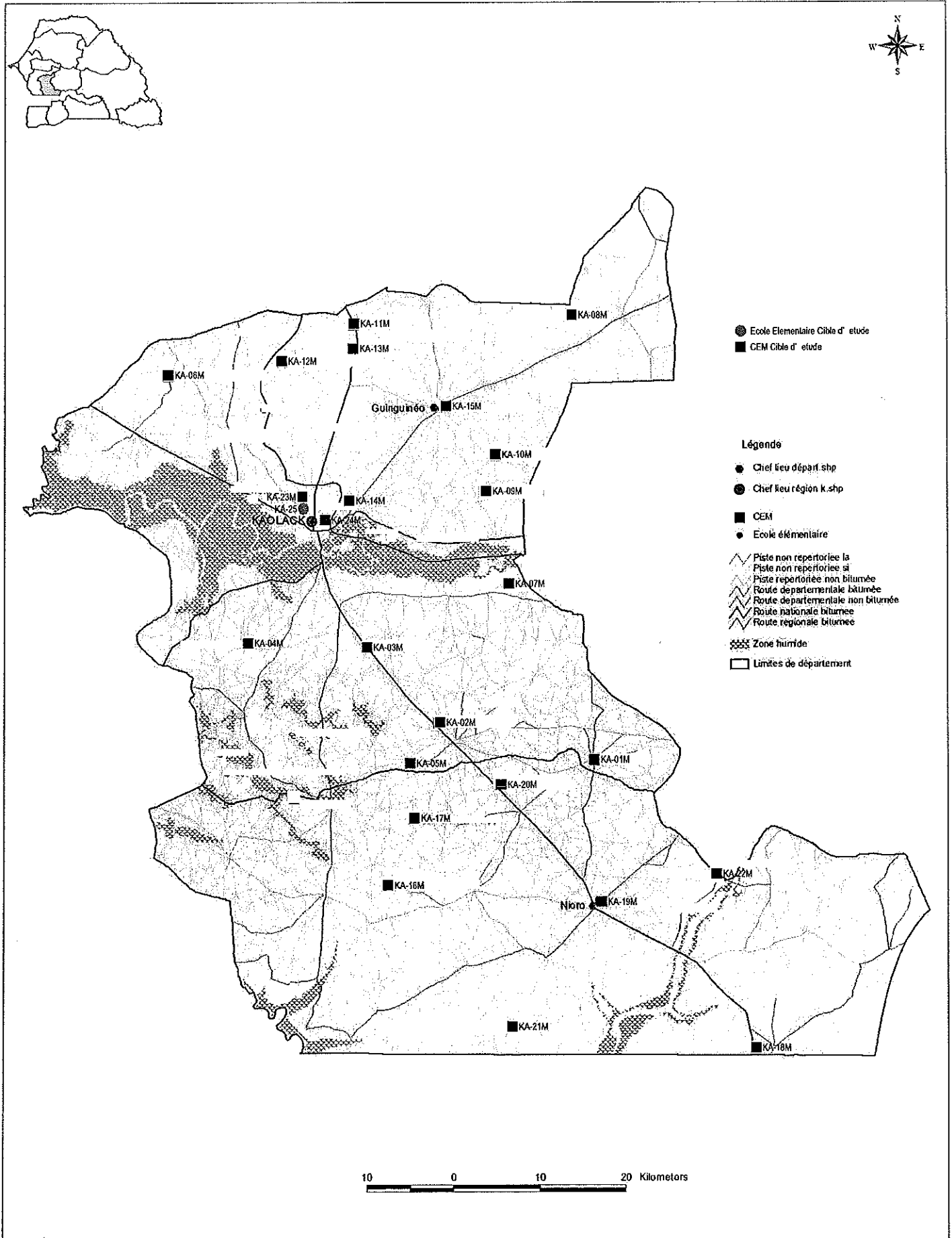


Localisation des sites d'intervention du Projet JICA VII





Localisation des sites d'intervention du projet JICA VII



Handwritten signature

Handwritten signature

Annexe 3 : Critères de sélection des sites faisant l'objet du Projet

- (1) Ecole/collège dont le besoin en salles de classe est confirmé;
- (2) Ecole/collège pour lequel la construction de salles de classe par d'autres bailleurs de fonds ou ONG n'est planifié;
- (3) Ecole/collège pour lequel les enseignants en nombre suffisant peuvent être affectés et dont les ressources financières pour la gestion d'établissement sont disponibles et la collaboration des acteurs d'écoles peut être obtenue pour la maintenance des infrastructures construites ;
- (4) Ecole/collège où une pièce attestant de l'attribution légale du terrain ou du droit d'utilisation du terrain est disponible ;
- (5) Ecole/collège dont les conditions topographiques sont favorables et la superficie est suffisante pour la construction de salles de classe ;
- (6) Ecole/collège où il n'y a pas de maisons d'occupation illégale et d'autre obstacle pour la construction ;
- (7) Ecole/collège dont la voie d'accès pour l'amenée du matériel et des matériaux de construction est en bonne condition ;
- (8) Ecole/collège où il n'y a pas de problème de sécurité ;
- (9) Ecole/collège dont les conditions géotechniques sont favorables;
- (10) Ecole/collège où il n'y a pas de risque de calamité naturelle.

Annexe 4 : Aperçu du système de coopération financière non-remboursable pour le développement communautaire

(Provisoire)

Le Gouvernement du Japon (ci-après dénommé « le GDJ ») est en train de mettre en place des réformes organisationnelles pour améliorer la qualité des opérations APD, et comme partie de cette réorganisation, la nouvelle réglementation de la JICA est entrée en vigueur à partir du 1^{er} Octobre 2008. Sur la base de la loi et la décision du Gouvernement du Japonais (ci-après dénommé « le GDJ »), la JICA est devenue l'Agence d'Exécution de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire (Ci-après dénommée « l'ADC »).

L'Aide Non-Remboursable pourvoit le Gouvernement du Pays bénéficiaire (ci-après dénommé « le Bénéficiaire ») de fonds non-remboursables pour obtenir des installations, des équipements et services (services d'ingénierie et de transport de produits, etc.) pour le développement économique et social du pays suivant les principes en accord avec les lois et les règlements applicables du Japon. L'Aide Non-Remboursable ne fait pas de dons matériels en tant que tels.

1. Procédures de l'ADC

L'ADC s'exécute selon les procédures suivantes :

Demande	Requête formulée par le pays bénéficiaire
Etude	Etude préparatoire conduite par la JICA
Evaluation et Approbation	Evaluation par le Gouvernement du Japon et la JICA, et Approbation par le Cabinet Ministériel du Japon
Détermination de la Mise en œuvre	Les Notes (Ci-après dénommés « E/N ») échangées entre les Gouvernements du Japon et du Pays bénéficiaire
Accord de Don (ci-après dénommé « l'A/D »)	Accord conclu entre la JICA et le Pays bénéficiaire
Exécution	Exécution du Projet sur la base de l'A/D

Tout d'abord, une demande ou requête pour un Projet ADC est soumise par le Bénéficiaire et examinée par le Gouvernement du Japon (le Ministère des Affaires Etrangères) pour déterminer si le Projet est éligible pour l'ADC.

Deuxièmement, si la requête est jugée appropriée, le Gouvernement du Japon charge la JICA (Agence Japonaise de Coopération Internationale) de mener l'Etude Préparatoire, utilisant une firme japonaise de consulting.

Troisièmement, le Gouvernement du Japon et la JICA évaluent le Projet pour voir s'il convient à l'ADC du Japon, sur la base du rapport de l'Etude Préparatoire conduite par la JICA, et les résultats sont alors soumis au Cabinet ministériel du Japon pour approbation.

Quatrièmement, le Projet, une fois approuvé par le Cabinet, devient officiel avec les Echanges de Notes (E/N) signées par les Gouvernements du Japon et du Bénéficiaire.

Simultanément, l'Aide est rendu disponible par la conclusion de l'Accord de Don (Ci-après dénommé « A/D ») entre le Gouvernement du Pays bénéficiaire ou son autorité désignée et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA). La JICA est désignée par le Gouvernement du Japon comme l'organisation responsable de l'exécution convenable de l'Aide.

L'Agent d'Approvisionnement (« l'Agent ») est désigné pour conduire les services d'approvisionnement des produits et services (y compris la gestion des fonds, la préparation des offres, les contrats et ainsi de suite) pour l'ADC au nom du Bénéficiaire. L'Agent est une entité impartiale et spécialisée et doit rendre les services suivant l'Accord d'Agent avec le Bénéficiaire. L'Agent est recommandé au Bénéficiaire par le Gouvernement du Japon et convenu par les deux Gouvernements dans le Procès Verbal Signé (« PV/S »).

2. Etude Préparatoire

1) Contenu de l'Etude

Le but de l'Etude Préparatoire (« l'Etude »), conduite par la JICA sur un Projet demandé (« le Projet »), est de produire un document de base nécessaire pour l'évaluation du Projet par le Gouvernement du Japon et la JICA. Le contenu de l'Etude est le suivant :

- (1) Confirmation du contexte, des objectifs et des avantages du Projet ainsi que la capacité institutionnelle des agences et communautés concernées du pays bénéficiaire, nécessaires à l'exécution du Projet.
- (2) Evaluation de l'opportunité du Projet à être exécuté suivant le système de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire d'un point de vue technique, social et économique ;
- (3) Confirmation des points convenus par les deux parties concernant le concept de base du Projet;

- (4) Préparation d'un concept sommaire du Projet;
- (5) Estimation des coûts du Projet; et
- (6) Préparation des documents de référence pour l'appel d'offres.

Le contenu de la requête originale par le Gouvernement du pays bénéficiaire n'est pas nécessairement approuvé dans sa forme initiale comme contenu du projet de l'Aide Non-Remboursable. Le concept de base du Projet est confirmé par rapport aux directives du système d'Aide Non-Remboursable du Japon.

La JICA demande au Gouvernement du pays bénéficiaire de prendre toutes les mesures nécessaires pour assurer son auto-dépendance dans l'exécution du Projet. De telles mesures doivent être garanties même si elles sortaient hors du cadre de la juridiction de l'organisation du pays bénéficiaire qui exécute en fait le Projet. Par conséquent, l'exécution du Projet est confirmée par toutes les organisations compétentes du pays bénéficiaire à travers les PV de Discussions.

2) Sélection des Consultants

Pour une bonne exécution de l'Etude, la JICA utilise les firmes de consultation reconnues. La JICA choisit les firmes sur la base des propositions soumises par celles intéressées. La firme choisie mènera une Etude Préparatoire et fera un rapport écrit, en se basant sur les termes de référence de la JICA. La firme de consultation utilisée pour l'Etude est désignée comme le Consultant japonais responsable (ci-après dénommé le « Consultant Japonais ») pour entreprendre la supervision des travaux de construction du Projet sous l'Agent afin de garder la consistance technique. Le Consultant japonais doit organiser une équipe compétente de supervision de la construction en utilisant les consultants locaux.

3) Résultat de l'Etude

Le rapport de l'Etude est révisé par la JICA. Après avoir confirmé l'opportunité et la faisabilité du Projet, la JICA demande au Gouvernement du Japon d'évaluer la réalisation du Projet.

3. Mise en œuvre de l'ADC après l'E/N et l'A/D

1) Exchange de Notes (E/N) et Accord de Don (A/D)

Une fois que le Projet est approuvé par le Cabinet des Ministres du Japon, l'E/N est signée entre le GDJ et le Gouvernement du pays bénéficiaire avec promesse



18



d'assistance, suivi de la conclusion de l'A/D entre la JICA et le Gouvernement du pays bénéficiaire pour définir les différents articles nécessaires à l'exécution du Projet, tels que les conditions de paiement, les responsabilités du Gouvernement du pays bénéficiaire, et les conditions d'approvisionnement.

2) Détails de procédure

Les détails de procédure sur les produits et services d'approvisionnement sous l'ADC seront convenus entre le bénéficiaire et la JICA au moment de la signature de l'A/D. Les points essentiels à convenir sont résumés comme suit :

- a) La JICA exécute le Don en payant le montant convenu dans l'E/N et prête une attention particulière pour assurer la responsabilité financière sur l'utilisation effective et convenable du Don pour le Projet.
- b) Les produits et services doivent être obtenus et fournis en accord avec les « Directives d'Approvisionnement de l'Aide au Développement du Japon (Type I-C) ».
- c) Le Gouvernement du pays bénéficiaire doit conclure un contrat de travail avec l'Agent.
- d) Le Gouvernement du pays bénéficiaire doit désigner l'Agent comme le représentant agissant au nom du Gouvernement du pays bénéficiaire pour tous les transferts de fonds à l'Agent.

3) Les Points Focaux des « Directives d'Approvisionnement de l'Aide Non-Remboursable du Japon (Type I-C) » de la JICA

a) L'Agent

L'Agent est une entité qui fournit des services d'approvisionnement de produits et services au nom du Bénéficiaire selon l'Accord d'Agent avec le Bénéficiaire. L'Agent est recommandé au Bénéficiaire par le Gouvernement du Japon et convenu entre les deux Gouvernements en PV/S.

b) Accord d'Agent

Le Bénéficiaire doit conclure un Accord d'Agent, dans les deux (2) mois suivant la date d'entrée en vigueur de l'A/D, en accord avec le PV/S. L'étendue des services de l'Agent doit être clairement spécifiée dans l'Accord d'Agent.

c) Approbation de l'Accord d'Agent

L'Accord d'Agent qui est préparé en deux documents identiques, doit être soumis à

la JICA par le Bénéficiaire à travers l'Agent. La JICA confirme si l'Accord d'Agent est conclu en conformité avec l'E/N, l'A/D, et les Directives d'Approvisionnement de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du Japon, et approuve l'Accord. L'Accord d'Agent qui est conclu entre le Bénéficiaire et l'Agent doit être effective après l'approbation sous forme écrite par la JICA.

d) Méthodes de paiements

L'Accord d'Agent doit stipuler que « pour tous les transferts de fond à l'Agent, le bénéficiaire désignera l'Agent pour agir au nom du bénéficiaire et émettra l'Autorisation de Déboursement Global « l'ADG ») pour faire le transfert de fond (Avances) du Compte d'Approvisionnement au Compte du Bénéficiaire. »

L'Accord d'Agent doit clairement préciser que le paiement à l'Agent doit se faire en yen japonais à partir des Avances et que le paiement final à l'Agent doit être fait lorsque le Montant total Restant est inférieur à 3% de l'Aide et de ses intérêts courus sans les frais de l'Agent.

e) Produits et Services Eligibles pour l'Approvisionnement

Les Produits et services à procurer doivent être choisis parmi ceux définis dans l'A/D.

f) Firme de Consultants

En principe, la firme de consultants (personnes physiques ou personnes juridiques, y compris des universités, ONGs et d'autres avec expertise et expériences) qui seront recrutés pour l'exécution de la conception détaillée et la supervision des travaux pour le Projet/ le Programme, pourront être des nationaux japonais recommandés par la JICA pour assurer la cohérence technique avec l'étude préparatoire et les autres études concernées et réalisées avant la signature de l'A/D.

g) Entreprises de Construction & de Fourniture

En principe, seuls les Entreprises de travaux de construction de nationalité du pays bénéficiaire pourraient contracter en tant qu'entreprises de construction à condition que l'entreprise satisfasse les conditions spécifiées dans les dossiers d'appel d'offre.

h) Méthode d'Approvisionnement

Au moment de la mise en œuvre de l'approvisionnement, une attention particulière



2007



doit être accordée afin d'éviter une injustice entre les soumissionnaires éligibles pour l'approvisionnement des produits et services. A cette fin, une soumission compétitive devrait être employée en principe.

i) Dossiers d'Appel d'Offre

Les dossiers d'appel d'offre devraient contenir toutes les informations nécessaires pour permettre aux soumissionnaires de préparer des offres valides pour les services et produits à être procuré par l'ADC. Les droits et obligations du Bénéficiaire, de l'Agent et des Fournisseurs de produits et services doivent être stipulé dans les dossiers d'appel d'offre préparés par l'Agent. En plus de cela, les dossiers d'appel d'offre seront préparés en consultation avec le Bénéficiaire.

j) Examen de Pré-qualification des Soumissionnaires

L'Agent peut mener un examen de pré-qualification des soumissionnaires avant l'offre de sorte à ce que l'appel d'offre soit étendu seulement aux entreprises éligibles. L'examen de pré-qualification devra être fait seulement en considérant si tous les soumissionnaires potentiels ont la capacité de réaliser les dits-contrats sans faille. Dans ce cas, les points suivants devraient être pris en compte :

- (1) Expérience et Résultats passés obtenus dans des contrats similaires ;
- (2) Fondement des biens et propriété ou la crédibilité financière; et
- (3) Existence de bureaux, etc. à spécifier dans les dossiers d'appel d'offre.

k) Evaluation de l'Offre

L'évaluation de l'offre devrait être faite sur la base des conditions spécifiées dans les dossiers d'appel d'offres. Ces offres, conformes en substance aux spécifications techniques, et répondant aux autres stipulations des dossiers de l'offre, seront jugées en principe sur la base des prix soumis, et le soumissionnaire qui offrira le moindre coût sera attributaire.

L'Agent doit préparer un rapport détaillé d'évaluation de l'offre clarifiant les raisons du choix de l'offre retenue et la disqualification des autres et le soumettre au bénéficiaire pour obtenir sa confirmation avant de signer le contrat avec l'attributaire. L'Agent doit faire un rapport détaillé d'évaluation des offres, avant toute décision finale d'attribution, donnant les raisons d'acceptation ou de rejet des offres.

l) Approvisionnement supplémentaire

Si l'on découvre un approvisionnement supplémentaire après soumission compétitive et/ou sélective et/ou une négociation directe de contrat, et que le Bénéficiaire aimerait un approvisionnement supplémentaire, l'Agent est autorisé de faire un approvisionnement supplémentaire, en suivant les points mentionnés ci-dessous :

(1) Approvisionnement des mêmes produits et services

Lorsque les produits et services à obtenir en plus sont identiques à l'offre initiale et qu'une soumission compétitive est jugée désavantageuse, l'approvisionnement supplémentaire peut être exécuté par un contrat direct avec l'attributaire de l'offre initiale.

(2) Autres Approvisionnements

Lorsque les produits et services autres que ceux mentionnés ci-dessus en (1) doivent être obtenus, l'approvisionnement devrait être exécuté à travers une soumission compétitive. Dans ce cas, les produits et services pour l'approvisionnement supplémentaire doivent être choisis parmi ceux en accord avec l'E/N et l'A/D.

m) Conclusion des Contrats

Afin de procurer des produits et services en accord avec l'A/D, l'Agent doit conclure des contrats avec les entreprises choisies par soumission ou autres méthodes.

n) Termes de Paiement

Le contrat doit clairement spécifier les termes de paiement. L'Agent doit faire le paiement à partir des « Avances », contre dépôt de documents nécessaires par l'Entreprise sur la base des conditions spécifiées dans le contrat, après que les obligations de l'Entreprise aient été accomplies. Lorsque les services font l'objet d'approvisionnement, l'Agent peut payer en avance une certaine portion du montant du contrat aux entreprises à condition que de telles entreprises soumettent la garantie d'avance de paiement, égale au montant du paiement de l'avance par l'Agent.

4) Principales Mesures à prendre par le Gouvernement du Pays bénéficiaire

(a) Dans l'exécution d'un Projet d'Aide Non-Remboursable, il est requis au pays bénéficiaire d'entreprendre les mesures nécessaires suivantes :

(1) Obtenir des superficies de terrain nécessaires pour la mise en œuvre du Projet et déblayer les sites ;

(2) Fournir des installations pour la distribution de l'électricité, de l'eau et le drainage et autres installations accessoires nécessaires à la mise en œuvre du Projet hors du site en référence au point (a) ci-dessus ;

(3) Assurer le dédouanement rapide et assister au transport à l'intérieur du pays bénéficiaire et en cela assister au transport interne des produits ;

(4) S'assurer que les taxes douanières, les taxes internes et autres prélèvements fiscaux qui pourraient faire l'objet d'imposition dans le pays bénéficiaire pour l'achat des composantes aussi bien que l'emploi de l'Agent soient exonérées/supportées par son autorité désignée sans utiliser l'Aide et ses intérêts courus ;

(5) Accorder aux nationaux japonais et/ou aux nationaux de pays tiers, y compris ceux qui sont employés par l'Agent, dont les services seront nécessaires pour la fourniture des composantes, les facilités nécessaires pour leurs entrées et séjours dans le pays bénéficiaire, afin qu'ils puissent effectuer leur travail. (Le terme "nationaux" lorsque utilisé dans l'A/A signifie les personnes physiques japonaises ou les personnes morales japonaises contrôlées par des personnes physiques japonaises pour les nationaux japonais, et les personnes physiques ou morales des pays tiers pour les nationaux des pays tiers.);

(6) S'assurer que les installations et les composantes sont entretenues et utilisées convenablement et efficacement pour la réalisation du Projet;

(7) Supporter tous les frais, autres que ceux couverts par l'Aide et ses intérêts courus, nécessaires à la réalisation du Projet; et

(8) Accorder une pleine considération sociale et environnementale dans la réalisation du Projet.

(b) Sur demande de la JICA, le bénéficiaire doit fournir à la JICA toutes les informations nécessaires sur le Projet.

(c) Par rapport à l'expédition et l'assurance maritime des produits procurés par le Projet, le Bénéficiaire doit s'abstenir d'imposer des restrictions de tout genre qui pourraient empêcher une libre et juste compétition entre les compagnies d'assurance.

(d) les produits procurés par le Projet ne doivent pas être exportés ou réexportés à partir du pays bénéficiaire.

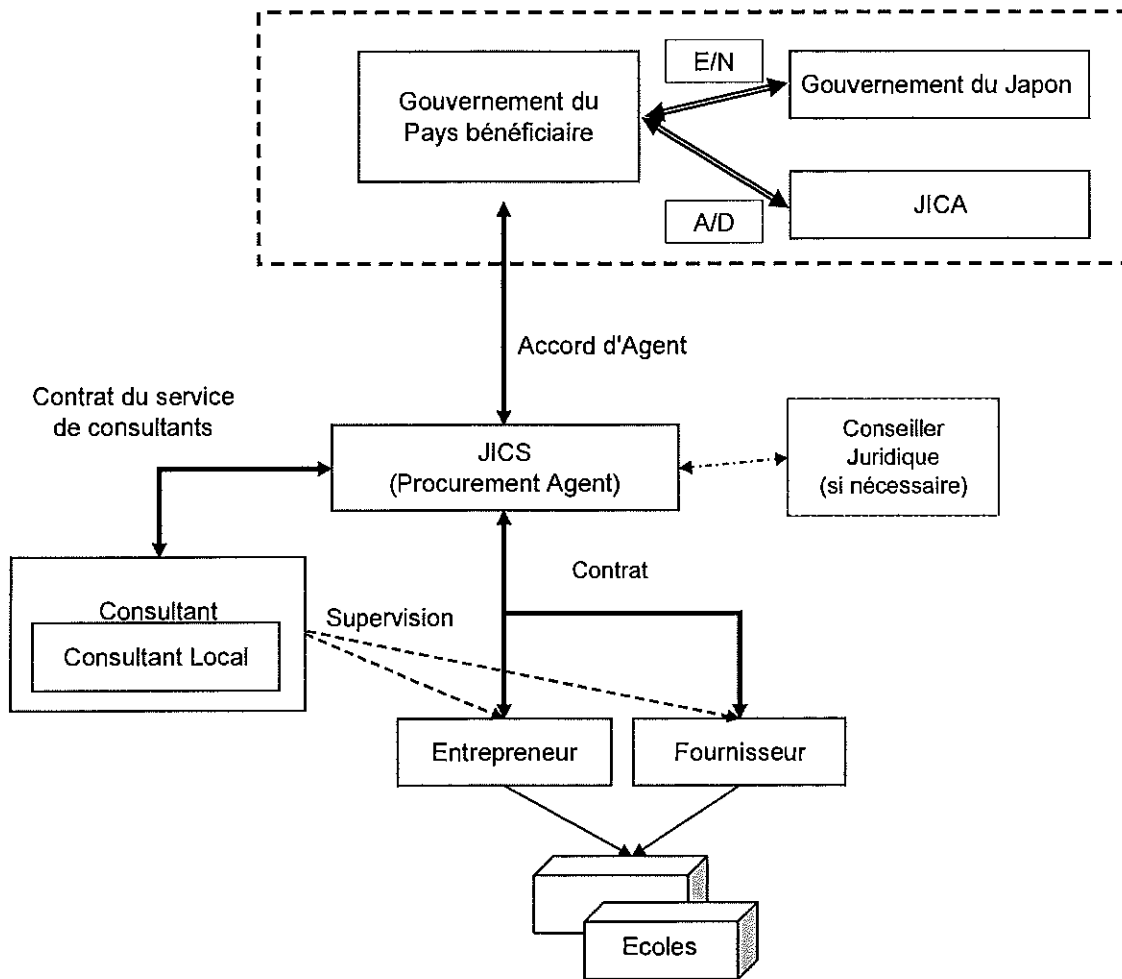
(e) le Bénéficiaire doit s'assurer qu'aucun membre du Gouvernement n'entreprenne aucune part du travail des nationaux japonais et/ou du travail des nationaux de tiers pays pour l'achat des composantes.

Ad

24

11

ANNEXE 5 Schéma d'exécution de l'aide financière non-remboursable du pour le développement communautaire du Japon après l'E/N (Echange de Notes) et l'A/D (Accord de Don)



Annexe 6 : Procédures relatives à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non-remboursable pour le développement communautaire

Etape	Flux et Travaux	Gouvernement bénéficiaire	Gouvernement Japonais	JICA	JICS(Agent)	Consultant	Entrepreneur	Autres
		Demande	<p>Requête</p> <p>Sélection du Projet</p> <p>Evaluation de T/R</p> <p>Etude d'identification du Projet (T/R : Termes de Référence)</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(Elaboration & Préparation du Projet)	<p>Etude de terrain 1</p> <p>Définir la portée du Projet</p> <p>Etude de terrain 2</p> <p>Explication du Rapport préliminaire</p> <p>Etude de terrain 3</p> <p>Explication du brouillon des Dossiers d'Appel d'Offres</p> <p>Rapport Final</p> <p>Etude de terrain: Interview au Ministère de l'Énergie, Coût du projet, Rapport des Travaux</p> <p>Décision sur les dispositions d'étapes avancées</p> <p>"Plan d'ensemble" Sous-traitance CL, Minist. Toile: Préparat. Dossiers d'Appel d'Offres</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	<p>Evaluation & Approbation</p> <p>Evaluation du Projet</p> <p>Consultation inter-ministérielle</p> <p>Présentation des Notes préliminaires</p> <p>Approbation par le Cabinet</p>		<input type="checkbox"/>					
	<p>Exécution</p> <p>EN (EN : Exchange de Note)</p> <p>AD (AD : Accord de Don)</p> <p>Arrangement bancaire</p> <p>Accord d'Agent</p> <p>Vérification</p> <p>Délivrance de l'ADG (ADG : Autorisation de Déploiement Global)</p> <p>Contrat de Consultant</p> <p>Plan détaillé & Dossiers d'Appel d'Offres</p> <p>Approbation du Gouvernement bénéficiaire</p> <p>Préparation de l'Offre</p> <p>Soumission & Evaluation</p> <p>Contrat pour Construction/ Approvisionnement</p> <p>Construction/ Approvisionnement</p> <p>Certificat d'achèvement du Gouvernement bénéficiaire</p> <p>Fonctionnement</p> <p>Etude post-Evaluation</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
Evaluation & Suivi	<p>Ex-Post-Evaluation</p> <p>Suivi</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

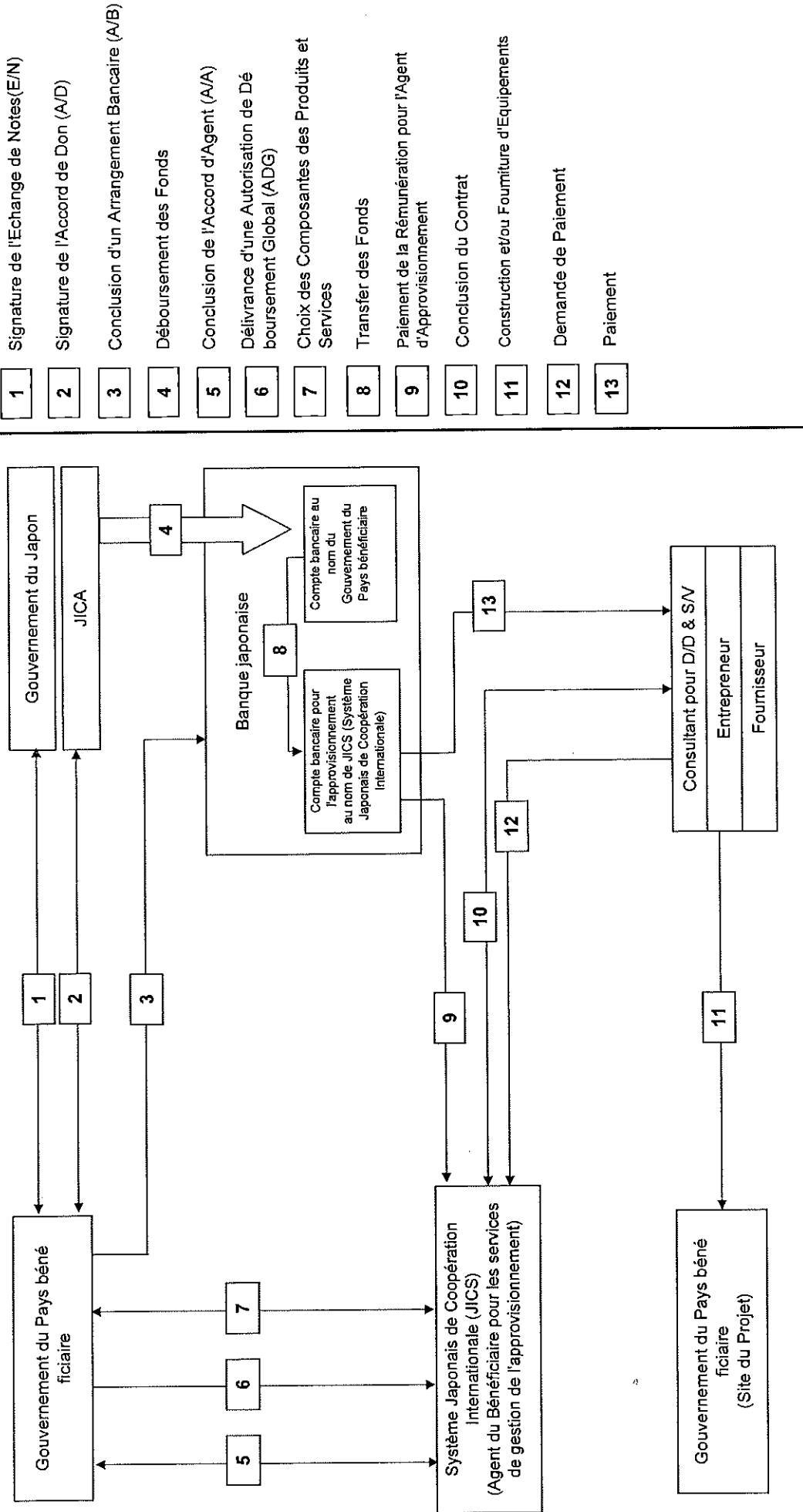
* L'étude de terrain 3 et la procédure d'évaluation seront mises en œuvre simultanément.

★ Banque japonaise

Handwritten signature/initials.

Handwritten signature/initials.

ANNEXE 7 : Circuit du fonds relatif à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire



Handwritten signature

Handwritten signature

ANNEXE 8 : Principales mesures à prendre par chaque gouvernement

No.	Eléments	à couvrir par le Don	à couvrir par la partie bénéficiaire
1	Obtenir une superficie de terrain suffisante		●
2	Démolition des installations, défrichage, mise à niveau et récupération du terrain si nécessaire		●
3	Construction de portails et des clôtures autour du terrain		●
4	Construction de parc de stationnement		●
5	Construction de la route		
	1) A l'intérieur du site	●	
	2) A l'extérieur du site		●
6	Construction de bâtiment	●	
7	Fournir les installations pour la distribution d'électricité, l'eau courante, l'égout et les autres installations accessoires :		
	1) Electricité		
	a. La ligne de distribution jusqu'au site		●
	b. Le câblage de branchement et le câblage interne sur le site	●	
	c. Le circuit principal et transformateur	●	
	2) Alimentation en eau		
	a. Conduite principale d'eau courante urbaine jusqu'au site		●
	b. Système d'alimentation sur le site (réservoir de réception et château d'eau)	●	
	3) Drainage		
	a. Conduite principale urbaine d'égout (pour évacuer l'eau de pluie, les eaux d'égout etc. du site)		●
	b. Système d'égout sur le site (pour les eaux d'égout, les déchets ordinaires, l'eau de pluie etc.)	●	
	4) Alimentation en gaz		
	a. Conduite principale de gaz jusqu'au site		●
	b. Système d'alimentation sur le site	●	
	5) Téléphone		
	a. Ligne téléphonique de jonction jusqu'au répartiteur d'entrée (MDF) du bâtiment		●
	b. MDF et extension après le répartiteur	●	
	6) Mobilier et équipement		
	a. Meuble général		●
	b. Equipements du projet	●	
8	Prise en charge des commissions de la banque japonaise pour les services bancaires basés sur les arrangements bancaires (A/B):		●
9	Assurer le dédouanement rapide et assister au transport à l'intérieur du pays bénéficiaire et en cela assister au transport interne des produits		●
10	Assurer que les taxes douanières, les taxes internes et autres prélèvements fiscaux qui pourraient faire l'objet d'imposition dans le pays bénéficiaire pour l'achat des composantes aussi bien que l'emploi de l'Agent soient exonérés/supportés par son autorité désignée sans utiliser l'Aide et ses intérêts courus.		●
11	Accorder aux nationaux japonais et/ou aux nationaux de pays tiers, y compris ceux qui sont employés par l'Agent, dont les services seront nécessaires pour la fourniture des composantes, les facilités nécessaires pour leurs entrées et séjours dans le pays bénéficiaire, afin qu'ils puissent effectuer leur travail. (Le terme "nationaux" lorsque utilisé dans l'A/D signifie les personnes physiques japonaises ou les personnes morales japonaises contrôlées par des personnes physiques japonaises pour les nationaux japonais, et les personnes physiques ou morales des pays tiers pour les nationaux des pays tiers.);		●
12	Assurer que les installations et les composantes sont entretenues et utilisées convenablement et efficacement pour la réalisation du Projet		●
13	Supporter tous les frais, autres que ceux couverts par le Don et ses intérêts courus, nécessaires à la réalisation du Projet.		●
14	Accorder une pleine considération sociale et environnementale dans la réalisation du Projet.		●

(A/B : Arrangement Bancaire, A/D : Accord de Don)

セネガル共和国
ルーガ州及びカオラック州小中学校教室建設計画
協力準備調査
協議議事録

セネガル共和国（以下セ国と称する）政府より提出された要請に基づき、日本政府は「ルーガ州及びカオラック州小中学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）に関する協力準備調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と称する）に委託した。

JICAは、セ国へ人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課長丹原一広を団長とする準備調査団（以下「調査団」と称する）を派遣し、2011年6月25日より2011年8月1日まで同国に滞在する予定である。

関係者との協議および現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

セネガル共和国ダカール 2011年7月7日

丹原 一広
団長
準備調査団
独立行政法人国際協力機構
日本

マファカ トゥレ
次官
初等・中等前期・中等後期・国語担当教育省

マサール ワゲ
経済、財務協力局長
経済、財務省

付属書

1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、教育施設の増設・建替え、及び教育家具の調達を通して、ルーガ州、カオラック州の小中学校の基礎教育へのアクセス及び学習環境を改善することである。

2. 相手国実施責任機関

2-1. 本プロジェクトの責任機関は、セ国初等・中等前期・中等後期・国語担当教育省企画改革局（DPRE）である。

2-2. 本プロジェクトの実施機関は、セ国初等・中等前期・中等後期・国語担当教育省総務機材局（DAGE）である。なお、本プロジェクトの実施にあたっては、初等・中等前期・中等後期・国語担当教育省学校建設局（DCS）と学校機材局（DEqSc）がプロジェクトに協力する。

3. プロジェクト対象サイト

3-1. 本プロジェクトの対象サイトは、ルーガ州とカオラック州とする。

3-2. 対象校は、別紙1に示される対象候補サイトの中から、同リストに示された優先順位に従って、今次調査後の国内解析の結果をもとに、対象校の選定を日本側に委ねることをセ国側は合意した。

4. プロジェクトコンポーネント

4-1. 協議の結果、セ国から要請されたプロジェクトコンポーネントは教室、管理棟、トイレ棟、教育家具である。特別教室及び機材についてはプロジェクトに含まないことを両者合意した。

4-2. 教室の建設と教育家具（黒板、机、椅子）の供与を最優先とすることで両者合意した。セ国側から要請のあったその他のプロジェクトコンポーネント（トイレ棟、管理棟）は、対象校でのサイト調査の結果を踏まえ検討することとした。新設校を対象とする場合は、教室、家具に加えてトイレ棟、管理棟を加えたフルコンポーネントで計画する。

4-3. 水場と塀が必要と判断されたところはセ国側で負担する。

4-4. ソフトコンポーネントについては調査結果を踏まえて実施の必要性および計画を検討する。

5. 日本の無償資金協力制度

5-1. セ国側は、別紙4、別紙5、別紙6、別紙7に記載されている日本のコミュニティ開発

支援無償資金協力制度について十分に理解した。

- 5-2. セ国側は、無償資金協力が実施される場合、プロジェクトの円滑な実施のために別紙 8 に記載されているとおりの必要な措置を行う。

6. プロジェクト実施のフレームワーク

調査団は、プロジェクト実施のフレームワークについて以下の通り説明した。

- 6-1. 無償資金協力が閣議によって承認の後、交換公文 (E/N) が日本国政府とセ国側政府の間で署名され、引き続き JICA とセ国側政府との間で贈与契約 (G/A) が締結される。G/A は支払条件、被援助国の責務、調達条件といった、当該プロジェクトの実施に必要なとされる条項を定めるものである。
- 6-2. 交換公文 (E/N) 及び贈与契約 (G/A) が締結された後、セ国側政府は日本の調達代理機関と調達代理契約と締結を行う。

7. 協議会

- 7-1. プロジェクトの円滑な実施のために、セ国側関係機関と JICA の代表者で構成される協議会を設置することで両者合意した。協議会のメンバーは以下の通りである。
 - (1) 教育省の代表
 - (2) 経済財政省の代表
 - (3) JICA セネガル事務所の代表
- 7-2. 協議会は、進捗確認、技術的確認事項、調達に関する事項などプロジェクトに関連し提起されるあらゆる事項を協議するために定期的を開催する。

8. 調査のスケジュール (予定)

- 8-1. 本調査団は、引き続き 2011 年 8 月 1 日まで調査を継続し、コンポーネントの技術仕様の確認、土地証書の提出結果の確認、必要な情報収集を行った結果をテクニカルノートにまとめる。
- 8-2. セネガルでの現地調査結果を踏まえ、調査団は 11 月頃まで日本で国内解析を行う。JICA は、12 月頃にセ国へ準備調査報告書 (案) 説明調査団を派遣する。
- 8-3. 日本での第二次国内解析後、調査団は 2012 年 4 月に入札関連書類の説明のためセ国を訪問する。
- 8-4. 調査団は、上記スケジュールが日本政府の予算計画に応じて変更となる可能性があることを説明し、セ国側は了解した。

9. その他協議事項

- 9-1. セ国側はプロジェクトで建設された学校施設を適切に運営、維持管理しなければなら

ない。

- 9-2. セ国側は本計画実施後の教員配置を適切に行うことを約束した。
- 9-3. セ国側はプロジェクト邦人関係者に対する十分な安全対策を措置することを約束した。
- 9-4. セ国側は本調査に必要なデータ、情報、書類を提供することを約束した。
- 9-5. セ国側は学校の土地帰属を証明する書類（土地台帳、譲渡議決書、自治体が発行する証明書）を7月23日までに調査団あるいはJICAセネガル事務所に提出することを約束した。
- 9-6. 調査及び実施に関わるセ国側の日当、宿泊費はセ国側が負担する。
- 9-7. 案件名につき、より実態に即した名称とするため、” *Projet de renforcement des capacités d’ accueil d’ amélioration d’ environnement scolaire dans l’ enseignement élémentaire et moyen dans les régions de Louga et Kaolack*” から、” *Projet de Construction de Salles de Classe pour l’ Enseignement Elémentaire et Moyen dans les Régions de Louga et de Kaolack*” に変更することで両者合意をした。

別紙1：要請校リスト及び優先順位

別紙2：要請校位置図

別紙3：対象候補サイト選定基準

別紙4：コミュニティ開発支援無償資金協力制度概要(Grant Aid for Community Empowerment of the Government of Japan (Provisional))

別紙5：コミュニティ開発支援無償資金協力における実施の流れ(Implementation Flow of Japan’ s Grant Aid for Community Empowerment after E/N and G/A)

別紙6：コミュニティ開発支援無償資金協力における手続きの流れ(Flow Chart of Japan’ s Grant Aid Procedures for Community Empowerment)

別紙7：コミュニティ開発支援無償資金協力における資金の流れ(Flow of Funds for Implementation under the Japan’ s Grant Aid for Community Empowerment)

別紙8：被援助国の求められる主な措置(Major Undertakings to be Taken by Each Government)

(別紙4～8については和訳添付無し)

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
RELATIVES A L'ETUDE SUR LE TERRAIN II
(MISSION D'EXPLICATION DU PROJET DE RAPPORT DU CONCEPT SOMMAIRE)
POUR LE PROJET DE CONSTRUCTION DE SALLES DE CLASSE
POUR L'ENSEIGNEMENT ELEMENTAIRE ET MOYEN
DANS LES REGIONS DE LOUGA ET DE KAOLACK
EN REPUBLIQUE DU SENEGAL

En réponse à la requête présentée par le gouvernement de la République du Sénégal (ci-après désignée « le Sénégal »), le gouvernement du Japon a décidé d'effectuer une étude du concept sommaire pour le Projet de construction de salles de classe pour l'enseignement élémentaire et moyen dans les Régions de Louga et de Kaolack (ci-après désigné « le Projet »), et a confié la mise en œuvre de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

La JICA a envoyé au Sénégal une mission d'étude du concept sommaire pour le Projet, de juin à août 2011, afin d'effectuer les discussions et l'étude des sites concernés. La JICA a ainsi établi le projet de rapport de l'étude préparatoire du Projet après l'évaluation technique au Japon des résultats de l'étude.

La JICA a ensuite envoyé au Sénégal une mission d'explication du projet de rapport du concept sommaire (ci-après désignée « la Mission ») dirigée par Monsieur Kazunao SHIBATA, Chef de Bureau à la JICA/Sénégal pour la période du 11 au 22 décembre 2011, afin d'expliquer le contenu dudit projet de rapport à la partie sénégalaise, et d'entendre leur avis sur le contenu.

A l'issue des discussions, les deux parties ont confirmé les principaux points mentionnés dans l'Appendice.

Fait à Dakar, le 22 décembre 2011

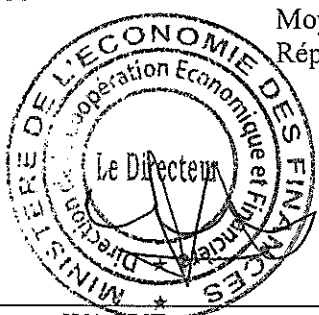
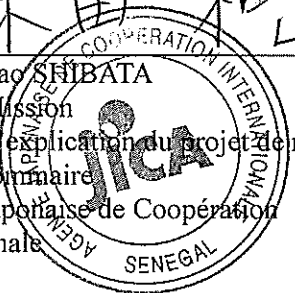
Pour le Ministre
et par Délégation
Le Secrétaire Général



Mafakha TOURE
Secrétaire Général
Ministère de l'Enseignement Élémentaire, du
Moyen Secondaire et des Langues Nationales
République du Sénégal

柴田 和道

M. Kazunao SHIBATA
Chef de Mission
Mission d'explication du projet de rapport du
concept sommaire
Agence Japonaise de Coopération
Internationale



M. Massar WAGUE
Directeur de la Coopération Economique et
Financière
Ministère de l'Economie et des Finances
République du Sénégal

APPENDICE

1. Contenu du rapport de l'étude préparatoire (projet)

La partie sénégalaise a donné son accord de principe à l'égard du contenu du rapport de l'étude préparatoire (projet), expliqué par la Mission, et l'a accepté.

2. Système de l'aide financière non remboursable du Japon

La Mission a expliqué le système d'aide financière non remboursable au développement communautaire du Japon ainsi que les travaux et prestations à la charge de la partie sénégalaise, qui sont mentionnés dans les annexes 4, 5, 6, 7 et 8 du Procès-verbal des discussions que les deux parties ont signé le 7 juillet 2011, et la partie sénégalaise l'a compris.

3. Calendrier de l'étude

La JICA achèvera l'élaboration du rapport définitif de l'étude préparatoire sur la base des résultats des présentes discussions, et le présentera au gouvernement du Sénégal avant la fin du mois de mai 2012.

4. Confidentialité

Les deux parties ont confirmé que tous les documents et les informations concernant ce Projet ne devront pas être divulgués à des personnes tierces autres que celles concernées par le Projet, avant la fin du processus d'appel d'offres.

5. Installations et équipements faisant l'objet du Projet

La Mission a expliqué le contenu des installations et des équipements faisant l'objet du Projet (Annexe 1), et la partie sénégalaise l'a accepté.

6. Composante soft

Les deux parties se sont mises d'accord sur la mise en œuvre de la composante soft relative à la gestion et à la maintenance des infrastructures qui seront aménagées dans le cadre du Projet.

7. Coût approximatif du Projet

La Mission a donné des explications sur le coût approximatif du Projet (Annexe 2). Les deux parties ont confirmé que ce coût ne doit pas être divulgué à des personnes tierces autres que celles concernées du Projet avant la sélection définitive des entrepreneurs. La Mission a expliqué que ce coût est une estimation et qu'il pourrait être modifié, et la partie sénégalaise l'a accepté.

8. Travaux et prestations à la charge de la partie sénégalaise

La Mission a donné des explications sur le contenu des travaux et des prestations qui devront être exécutés à la charge de la partie sénégalaise pour la mise en œuvre du Projet (Annexe 3) ainsi que le calendrier d'exécution des travaux (Annexe 4). La partie sénégalaise s'est engagée à assurer le budget nécessaire pour l'exécution de ces travaux et prestations et à les effectuer sans faute selon le calendrier.

9. Respect de la gestion et la maintenance

La partie sénégalaise s'est engagée à affecter, avant la fin des travaux de construction, les personnels à recruter nouvellement, qui sont nécessaires pour la mise en œuvre du Projet. La partie sénégalaise s'est également engagée à exécuter sans retard l'établissement du système de gestion et de maintenance et l'obtention et l'attribution du budget nécessaire à cette fin.

10. Calendrier d'exécution du Projet

La Mission a expliqué que la période de l'approbation définitive du Projet par le Gouvernement du Japon n'est pas encore arrêtée, et que le calendrier d'exécution du Projet sera informé à la partie sénégalaise dès qu'il aura été déterminé.

11. Autres

- (1) La procédure de la soumission du (des) contrat(s) devra être réalisée conformément aux directives de l'approvisionnement dans le cadre de la coopération financière non-remboursable de la JICA en prenant en référence la procédure de la soumission des travaux de construction de la partie sénégalaise. Ainsi, en ce qui concerne l'organisme d'exécution du Projet du pays bénéficiaire, la Direction de l'Administration Générale et de l'Equipement (DAGE) du Ministère de l'Enseignement Élémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales (MEEMSLN) sera le principal interlocuteur de la partie sénégalaise. Le Projet collaborera avec la Direction des Constructions Scolaires (DCS) et la Direction des Equipements Scolaires (DEqSc) du MEEMSLN lors de sa mise en œuvre.
- (2) En ce qui concerne l'intitulé du projet, les deux parties se sont mises d'accord pour le changer. Le projet sera désormais intitulé « Projet de Construction de Salles de Classe pour l'Enseignement Moyen dans les Régions de Louga et Kaolack » en remplacement de « Projet de Construction de Salles de Classe pour l'Enseignement Élémentaire et Moyen dans les Régions de Louga et de Kaolack » en vue de l'adapter au mieux aux circonstances réelles.

ANNEXE 1 : Liste des installations et du mobilier scolaire faisant l'objet du Projet

ANNEXE 2 : Coût approximatif du Projet

ANNEXE 3 : Travaux et prestations à la charge de la partie sénégalaise

ANNEXE 4 : Calendrier d'exécution du Projet (Provisoire)

ANNEXE 1 : Liste des installations et du mobilier scolaire faisant l'objet du Projet

« Installations faisant l'objet du Projet : par école »

CEM dans la Région de Louga

Ordre de priorité	N° de Réf.	IDEN	Nom d'école	Nbr de SDC à construire	Bloc admini -stratif	Nbr de cabines Latrines
1	Lo-08M	LINGUERE	CEM FA DE DAHRA	15	1	16
2	Lo-09M		CEM KADJI MADIA	7	1	8
2	Lo-10M		CEM DODJI	4	1	6
1	Lo-14M	LOUGA	CEM TOUBA SERAS	14	1	14
2	Lo-15M		CEM BARALE	14	1	14
3	Lo-16M		CEM LOUGA COMMUNE II	17	1	18
1	Lo-20M	KEBEMER	CEM KANENE NDIQB	9	1	10
2	Lo-21M		CEM DAROU MOUSTY II	13	1	14
3	Lo-23M		CEM FA KEBEMER	14	1	14

	Total des CEM dans la Région de Louga			107	9	114
--	---------------------------------------	--	--	-----	---	-----

CEM dans la Région de Kaolack

Ordre de priorité	N° de Réf.	IDEN	Nom d'école	Nbr de SDC à construire	Bloc admini -stratif	Nbr de cabines Latrines
1	KA-01M	KAOLACK DEPARTEMENT	CEM THIARE	15	1	16
2	KA-02M		CEM KEUR BAKA	17	1	18
2	KA-03M		CEM KOUMBAL	20	1	20
1	KA-08M	GUINGUINEO	CEM NDIAGO	11	1	12
2	KA-09M		CEM NGATHIE	10	1	10
2	KA-10M		CEM NGOLOUM	7	1	8
1	KA-16M	NIORO DU RIP	CEM MISSIRAH NIORO	9	1	10
1	KA-17M		CEM GAINTH KAYES	10	1	10
1	KA-18M		CEM KEUR AYIB POSTE	11	1	12
1	KA-23M	KAOLACK COMMUNE	CEM NDANGANE	13	1	14
2	KA-24M		CEM CAMP DE GARDE	8	1	8

	Total des CEM dans la Région de Kaolack			131	11	138
--	---	--	--	-----	----	-----

ck

MF

« Mobilier scolaire »

Le mobilier suivant sera aménagé dans chaque salle.

	Bloc	Salle	Mobilier : le chiffre dans la parenthèse signifie la quantité
CEM	Bâtiment de salles de classe	Salle de classe	Table-banc (pour 2 élèves) grande modèle (23), Table (1), Chaise (1)
	Bloc administratif	Bureau de principal	Bureau (1), Chaise (5), Armoire B (1)
		Magasin	Armoire A (4)
		Salle des professeurs	Table (12), Chaise (24) Armoire B (4)
		Salle de surveillants	Table (7), Chaise (7), Armoire A (6), Armoire B (4)

de
f

de

ANNEXE 2 : Coût approximatif du Projet

施工・調達業者契約認証まで非公表。

(2) Frais à la charge de la partie sénégalaise : 379,6 millions de FCFA (environ 67,8 millions de yens)

Détails des frais à la charge de la partie sénégalaise

Année	2012	2013	2014	2015	Total	montant en yens japonais
Aménagement des terrains (défrichage, abattage d'arbres et d'arbustes, déplacement/installation du portail d'entrée et des installations, enlèvement/réaménagement/installation de la clôture)		973 920	144 015 200	222 598 000	367 587 120	65 581 218
Travaux de branchement et de mise en place des installations d'électricité		200 000	400 000		600 000	107 046
Travaux de mise en place des installations d'alimentation en eau		200 000	900 000		1 100 000	196 251
Frais d'exécution de la composante soft (1)		287 000	432 000	384 000	1 103 000	196 786
Frais d'exécution relative à la construction des infrastructures (2)	132 500	832 500	1 035 000	192 500	2 192 500	391 164
Commission bancaire	7 175 607				7 175 607	1 280 200
TOTAL	7 308 107	2 493 420	146 782 200	223 174 500	379 758 227	67 752 665

(1) Estimé comme les frais de transport relatifs à l'atelier, etc.

(2) Estimé les frais relatifs au comité, l'accompagnement à la visite mensuelle des sites, à l'inspection de l'achèvement des travaux (indemnités en cas de déplacement entre régions)

Il est à noter que le chiffre ci-dessus est un montant approximatif calculé et estimé par la partie japonaise sur la base des informations collectées dans le cadre de l'étude sur le terrain exécutée en juillet 2011.

(3) Conditions d'estimation

- 1) Date de calcul : Juillet 2011
- 2) Taux de change : 1US\$ = 82,49 yens
1 FCFA) = 0,17841 yens
1 euro = 117,03 yens
- 3) Période des travaux et d'approvisionnement :
La période des travaux est comme mentionnée au calendrier d'exécution des travaux.
- 4) Autres : L'estimation des coûts devra être exécutée conformément au système de l'aide financière non remboursable du Gouvernement du Japon.

ANNEXE 3 : Travaux et prestations à la charge de la partie sénégalaise

Les travaux et prestations pris en charge par le gouvernement sénégalais, pour l'exécution du Projet dans le cadre de l'Aide non remboursable au développement communautaire du Japon, sont les suivants.

- 1) Préparation des terrains nécessaires pour la mise en œuvre du Projet, et obtention du droit de construction des bâtiments par le Ministère de l'Enseignement élémentaire, du Moyen Secondaire et des Langues Nationales.
- 2) Exécution des travaux de démolition et d'enlèvement des infrastructures existantes et des obstacles, ainsi que le remblai et le nivellement des sites avant la mise en œuvre du Projet (toutefois, les travaux de démolition et d'enlèvement des obstacles se situant dans les endroits où la construction des infrastructures est prévue par ce Projet seront pris en charge par la partie japonaise, pour la réalisation des travaux sans retard. Voir le tableau ci-dessous.).
- 3) Mise en œuvre des travaux d'extérieur, tels que la construction et la réparation de la clôture, l'installation du portail d'entrée, les travaux paysagers, et d'autres travaux connexes après l'achèvement des travaux de construction.
- 4) Exécuter, avant l'achèvement des travaux de construction, les travaux de branchement de l'électricité dans les sites, ainsi que les travaux d'installation du système d'eau potable, d'assainissement et de la ligne téléphonique.
- 5) Prise en charge des commissions de notification de l'Autorisation de Paiement (A/P) et des commissions de paiement, sur la base de l'arrangement bancaire avec la banque au Japon.
- 6) Prise des mesures nécessaires pour un bon déroulement de l'importation et du dédouanement des matériels et matériaux utilisés dans le cadre du Projet.
- 7) Prise des mesures nécessaires pour faciliter l'entrée et le séjour au Sénégal des personnes morales et physiques qui concernent le Projet, conformément à l'Accord d'Agent et à d'autres contrats conclus avec l'Agent d'Approvisionnement.
- 8) Exonération des droits de douane, des taxes intérieures et d'autres levées fiscales imposées au Sénégal à l'égard des personnes morales et physiques qui concernent le Projet.
- 9) Exonération des droits de douane, des taxes intérieures et d'autres levées fiscales imposées au Sénégal à l'égard des produits et services fournis sur la base de l'Accord d'Agent et à des autres contrats conclus avec l'Agent d'Approvisionnement.

10) Prise en charge des frais de dédommagement provoqués par la non exécution des travaux à la charge de la partie sénégalaise.

11) Utilisation et maintien, de façon appropriée et efficace, des infrastructures et des équipements qui seront fournis dans le cadre du Projet.

12) Prise en charge de tous les frais autres que ceux qui sont couverts par l'aide financière non remboursable au développement communautaire du Japon dans le cadre du Projet.

Les travaux à exécuter par la partie sénégalaise dans chaque site sont les suivants.

1^{er} Groupe

	CODE	IDEN	Nom d'école	Travaux de terrassement	Abattage / Déracinement des arbres et buissons	Travaux de raccordement des réseaux électrique / potable	Divers	Note
LOT1	Lo-14M	LOUGA	CEM TOUBAS SERAS				Déplacement du portail d'entrée de l'école primaire/ Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	Lo-20M	KEBEMER	CEM KANENE NDIJOB		Buissons (21m)	Électricité/ Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	Lo-21M	KEBEMER	CEM DAROU MOUSTY 2				Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	Lo-23M	KEBEMER	CEM FA DE KEBEMER		3 arbres		Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
LOT2	Lo-08M	LINGUIERE	CEM FA DE DAHRA				Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	Lo-09M	LINGUIERE	CEM KADJI MADIA				Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	Lo-10M	LINGUIERE	CEM DODJI				Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	Lo-15M	LOUGA	CEM BARALE				Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	Lo-16M	LOUGA	CEM LOUGA COMMUNE II	Déblais/Remblais (72m)	Buissons (30m)	Électricité/ Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	

2^{ème} Groupe

	CODE	IDEN	Nom d'école	Travaux de terrassement	Abattage / Déracinement des arbres et buissons	Travaux de raccordement des réseaux électrique / potable	Divers	Note
LOT 3	KA-03M	KAOLACK DEPARTEMENT	CEM KOUMBAL			Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	Déplacement du tuyau d'eau potable est à la charge de la partie japonaise.
	KA-08M	GUINGUINEO	CEM NDIAGO			Électricité/ Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	Déplacements du bâtiment avec antenne et d'un panneau solaire sont à la charge de la partie japonaise.
	KA-09M	GUINGUINEO	CEM NGATHIE				Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	KA-10M	GUINGUINEO	CEM NGOLOUM				Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	KA-23M	KAOLACK COMMUNE	CEM NDIANGANE			Électricité/ Eau potable	Déplacement de la porte de passage du stade/ Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	KA-24M	KAOLACK COMMUNE	CEM CAMP DE GARDE			Électricité/ Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	Démolition partielle de la clôture pour construire la porte de travaux et remise en état d'origine sont à la charge de la partie japonaise.
LOT 4	KA-01M	KAOLACK DEPARTEMENT	CEM THIARE			Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	KA-02M	KAOLACK DEPARTEMENT	CEM KEUR BAKA			Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	KA-16M	NIORO DU RIP	CEM MISSIRAH NIORO			Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	KA-17M	NIORO DU RIP	CEM GANTH KAYES		1 arbre et buissons (23m)	Électricité/ Eau potable	Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	
	KA-18M	NIORO DU RIP	CEM KEUR A YIB POSTE			Eau potable	Déplacement d'un abattoir/ Constructions du mur de clôture et portail d'entrée de l'école	

dyk

Jo

[Signature]

Handwritten initials/signature

ANNEXE 4 : Calendrier d'exécution du Projet (provisoire)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33			
Etape de mise en œuvre	No. de mois après la conclusion de l'Accord d'Agent																																				
	No. de mois pour les travaux de construction						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	Conseil des ministres																																				
	E/N - A/D																																				
	Accord d'Agent																																				
	Accord du service de consultation																																				
Bâtiments	Préparation et approbation du dossier d'appel d'offre																																				
	Annnonce de la soumission ~ passation de contrat(s)																																				
	Travaux de construction																																				
Equipements (mobiliers)	Soumission - passation de contrat(s)																																				
	Approvisionnement en équipements (mobiliers)																																				
Durée d'exécution des services par JICS																																					

Préparation 1 mois
Site pilote 1.5 mois
Travaux 10 mois
Inspection 1 mois

Suivi du chantier

La livraison des mobiliers se fait en 1 mois après la réception du bâtiment par JICS.

Handwritten initials/signature

Handwritten initials/signature

セネガル共和国
ルーガ州及びカオラック州小中学校建設計画
現地調査Ⅱ（概略設計概要説明）

協議議事録

セネガル共和国（以下、「セ国」と称する）政府より提出された要請に基づき、日本政府は「ルーガ州及びカオラック州小中学校建設計画」（以下、「プロジェクト」と称する）に関する概略設計調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」と称する）に委託した。

JICAはプロジェクトに関する概略設計調査団を2011年6月から8月にかけてセ国へ派遣し、協議やサイト調査を実施し、日本での調査結果の技術的審査を経て、協力準備調査報告書（案）を作成した。

JICAは協力準備調査報告書（案）の内容をセ国側に説明し、またその内容に関する意見を聴取するため、2011年12月11日から12月21日までの間、セ国にて、JICAセネガル事務所次長柴田和直を団長とする概略設計概要説明調査団（以下、「調査団」と称する）を派遣した。

協議の結果、双方は付属書に記述された主要事項を確認した。

セネガル共和国ダカール市 2011年12月22日

柴田 和直

団長

概略設計概要説明調査団

独立行政法人国際協力機構

マファタカ トゥレ

次官

初等、中等前期、中等後期、国語担当教育省

セネガル共和国

マサール ワゲ

経済、財務協力局長

経済、財務省

セネガル共和国

付属書

1. 協力準備調査報告書（案）の内容

セ国側は、調査団によって説明された協力準備調査報告書（案）の内容に関して原則合意し、これを受け入れた。

2. 日本の無償資金協力制度

調査団は、2011年7月7日に両者が署名した協議議事録の別紙4、別紙5、別紙6、別紙7、別紙8に記述された日本のコミュニティ開発無償資金協力制度の仕組み及びセ国政府が行う負担事項について説明し、セ国側はこれを理解した。

3. 今後の予定

JICAは本協議結果に基づいて最終報告書を完成させ、セ国政府に2012年5月中に提出する予定である。

4. 秘密保持

双方は、本プロジェクトに関連するあらゆる資料をプロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。

5. 本プロジェクトの対象施設・機材

調査団は、本プロジェクトの協力対象となる施設・機材内容（別紙1）について説明し、セ国側はこれを了解した。

6. ソフトコンポーネント

本プロジェクトの対象として、整備された施設の維持管理にかかるソフトコンポーネントを実施することで合意した。

7. プロジェクトの概算事業費

調査団は本プロジェクトの概算事業費（別紙2）について説明した。双方は概算事業費について受注者決定まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。調査団は、概算事業費は概算であり変更する可能性があることを説明し、セ国側はこれを了解した。

8. セ国側負担工事

調査団は、本プロジェクトの実施にあたって必要となるセ国側負担事項の内容（別紙3）及び事業実施工程案（別紙4）について説明した。セ国側はかかる事項の実施に必要な予算を確保し、スケジュールに則って確実に実施することを確約した。

9. 運営・維持管理の遵守

セ国側は、建設が終了するまでに、本計画の実施に伴い追加で必要となる人員を配置することを確約した。また、運営・維持管理体制の確立や運営・維持管理に必要な予算の確保・配分を遅滞なく実施することを確約した。

10. プロジェクトの実施スケジュール

調査団は、日本政府によるプロジェクトの最終承認の時期が不確定であることを説明するとともに、今後の本プロジェクトの実施スケジュールが確定次第セネガル側に通知する旨説明した。

11. その他

(1) 相手国側実施機関につき、入札・契約手続はセ国側の工事入札手続きを参照しつつ、JICA 無償資金協力調達ガイドラインに基づき実施するものとし、セ国教育省総務機材局 (DAGE) を主な窓口とする。なお、本プロジェクトの実施に当たっては教育省学校施設建設局 (DCS) 及び教育省学校機材局 (DEqSc) とも必要に応じて協力する。

(2) 案件名につき、より実態に即した名称とするため、” *Projet de Construction de Salles de Classe pour l’ Enseignement Elémentaire et Moyen dans les Régions de Louga et Kaolack*” から、” *Projet de Construction de Salles de Classe pour l’ Enseignement Moyen dans les Régions de Louga et de Kaolack*” に変更することで両者合意をした。

以 上

別紙1：対象施設・機材リスト

別紙2：概算事業費

別紙3：セ国側負担事項

別紙4：事業実施工程案

別紙1 対象施設・教育家具等に係るリスト

【学校別対象施設】

ルーガ州 中学校

優先順位	コード	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース
1	Lo-08M	リンゲール	F Aダーラ中学校	15	1	16
2	Lo-09M		カジマジャ中学校	7	1	8
2	Lo-10M		ドジ中学校	4	1	6
1	Lo-14M	ルーガ	トゥーバセラス中学校	14	1	14
2	Lo-15M		バラレ中学校	14	1	14
3	Lo-16M		ルーガコミュニケーション2中学校	17	1	18
1	Lo-20M	ケベメール	カネンジョブ中学校	9	1	10
2	Lo-21M		ダルムステイ2中学校	13	1	14
3	Lo-23M		F Aケベメール中学校	14	1	14

	ルーガ州中学校 合計			107	9	114
--	------------	--	--	-----	---	-----

カオラック州 中学校

優先順位	コード	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース
1	KA-01M	カオラック・ デパートメント	チアレ中学校	15	1	16
2	KA-02M		ケールバッカ中学校	17	1	18
2	KA-03M		クンバル中学校	20	1	20
1	KA-08M	ギンギネオ	ンジャゴ中学校	11	1	12
2	KA-09M		ンガチュエ中学校	10	1	10
2	KA-10M		ンゴルム中学校	7	1	8
1	KA-16M	ニオロ・ドウ ・リップ	ミシラニオロ中学校	9	1	10
1	KA-17M		ガントカイ中学校	10	1	10
1	KA-18M		ケールアイブポスト中学校	11	1	12
1	KA-23M	カオラック・	ンダンガン中学校	13	1	14
2	KA-24M	コミュニケーション	カンドギャルド中学校	8	1	8

	カオラック州中学校 合計			131	11	138
--	--------------	--	--	-----	----	-----

【教育家具等】

各諸室には、以下の家具を配置する。

	棟名	室名	家具 ()内の数値は数量
中学校	教室棟	教室	生徒用机・椅子(2人用) 大(23)、机(1)、椅子(1)
	管理棟	校長室	机(1)、椅子(5)、収納棚 B(1)
		倉庫	収納棚 A(4)
		教員室	机(12)、椅子(24)、収納棚 B(4)
		サーベイヤント室	机(7)、椅子(7)、収納棚 A(6)、収納棚 B(4)

別紙2 概算事業費

施工・調達業者契約認証まで非公表。

(2) セネガル国側負担経費

379.6 百万 FCFA (約 67.8 百万円)

セネガル国側負担経費内訳

年度	2012	2013	2014	2015	合計	日本円換算
敷地整備 (造成、樹木除却、低木除却、正門移設、工作物移設、新規正門設置、塀撤去、塀復旧、塀設置)		973,920	144,015,200	222,598,000	367,587,120	65,581,218
電気設備接続工事		200,000	400,000		600,000	107,046
給水設備接続工事		200,000	900,000		1,100,000	196,251
ソフコン実施費用 (1)		287,000	432,000	384,000	1,103,000	196,786
施設建設に係る実施費用 (2)	132,500	832,500	1,035,000	192,500	2,192,500	391,164
銀行手数料	7,175,607				7,175,607	1,280,200
合計	7,308,107	2,493,420	146,782,200	223,174,500	379,758,227	67,752,665

(1) ワークショップ等に係る交通費として積算

(2) コミッテイ、毎月のサイト訪問への同行、竣工検査への同行に係る交通費 (州をまたぐ移動の場合は旅費) を積算

なお、この額は 2011 年 7 月の現地調査時に得た情報を元に日本側が試算した概算額である。

(3) 積算条件

- ① 積算時点 : 平成 23 年 7 月
- ② 為替交換レート : 1US\$ =82.49 円
: 1 現地通貨 (FCFA : フラン・セーファー) =0.17841
円
: 1 ユーロ=117.03 円
- ③ 施工・調達期間 : 工事の期間は、業務実施工程に示したとおり。
- ④ その他 : 積算は、日本国政府の無償資金協力の制度を踏まえて行うこととする。

別紙3 セネガル国側負担事項

本プロジェクトを日本国のコミュニティ開発支援無償資金協力で実施する上で、セネガル国政府が負担すべき項目は下記のとおりである。

- 1) 本プロジェクトに必要な土地を用意し、教育省が建物を建設する権利を確保すること
- 2) 本プロジェクトの実施に先立ち、既存施設及び障害物の解体撤去工事を実施すると共に、盛り土、整地を行うこと（但し、本プロジェクトの施設の建設位置にある障害物の解体撤去工事については、工事を遅滞なく実施するために日本側負担で実施する。下表参照）
- 3) 工事完成後に囲い塀の新設または補修、正門の設置、造園、その他付属的な外構工事を実施すること
- 4) 工事完了までに電力、上水道、下水道、電話の敷地内への引き込みと接続工事を行うこと
- 5) 日本にある銀行との銀行取り決めに基づき包括的支払い授權書に係る通知手数料、及び支払手数料を負担すること
- 6) プロジェクトに使用される資機材の輸入、通関が速やかに実施されるよう、必要な措置を講じること
- 7) 調達代理契約及び調達代理機関と交わす各契約に基づいて、本プロジェクトに携わる個人または法人に対し、セネガル国への入国、並びに滞在に必要な便宜を供与すること
- 8) 本プロジェクトに携わる法人または個人に対し、セネガル国内で課される関税、国内税、及びその他課税を免除すること
- 9) 調達代理契約及び調達代理機関と交わす各契約に基づいた物品及び役務の提供に関し、セネガル国内で課される関税、国内税、及びその他課税を免除すること
- 10) セネガル国側負担事業の未実施によって生じる損害賠償を負担すること
- 11) 本プロジェクトで供与される施設機材を適切かつ効果的に使用し維持すること

12) 本プロジェクトの範囲内で日本のコミュニティ開発支援無償資金協力によって負担される費用以外の全ての費用を負担すること

セネガル国側負担による各計画サイトにおける必要工事は以下のとおり。

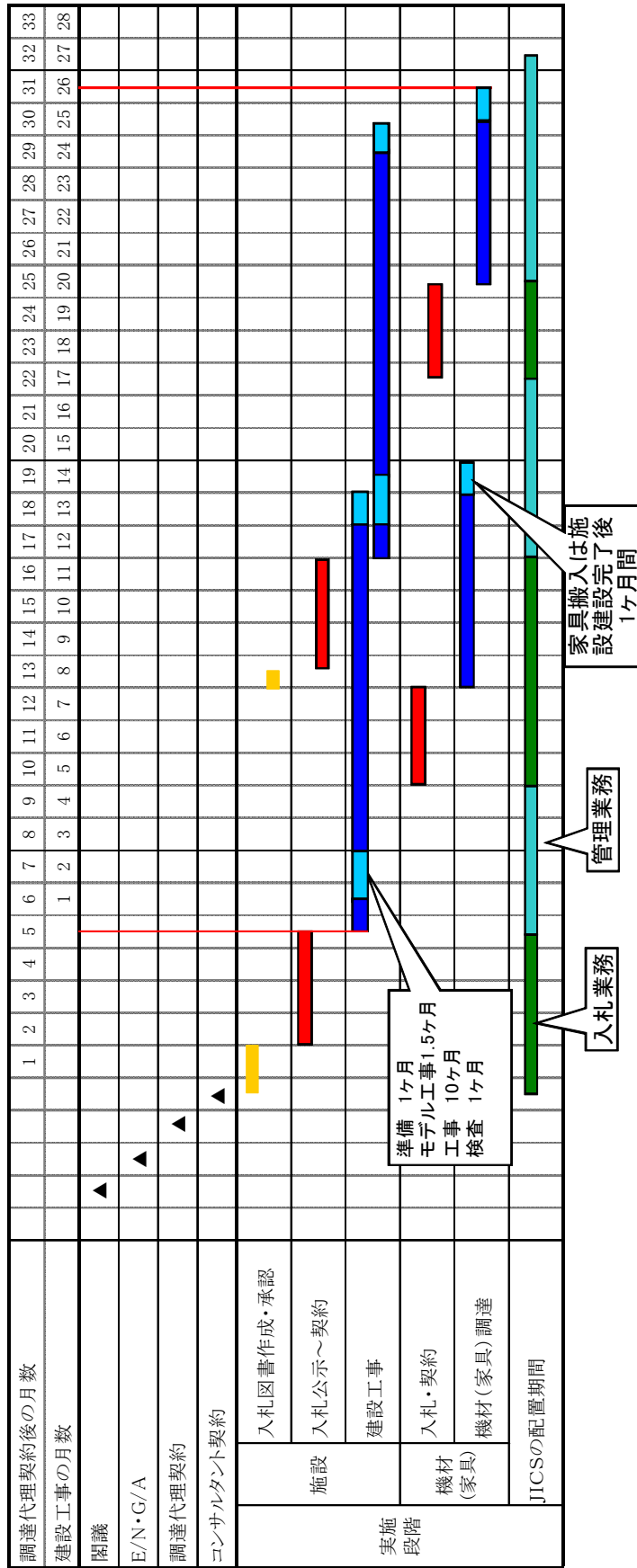
第1グループ

	コード	IDEN	学校名	造成	樹木伐採、 低木除去	電気・給水 接続工事	その他	備考
ロット 1	Lo-14M	ルーガ	トゥーバセラス中学校				隣接小学校正門移設 囲い塀および学校正門新設	
	Lo-20M	ケベメール	カネンジョフ中学校		低木(長さ24m)	電気・給水	囲い塀および学校正門新設	
	Lo-21M	ケベメール	ダルムスティ2中学校				囲い塀および学校正門新設	
	Lo-23M	ケベメール	FAケベメール中学校		樹木3本		囲い塀および学校正門新設	
ロット 2	Lo-08M	リングール	FAダーラ中学校				囲い塀および学校正門新設	
	Lo-09M	リングール	カジマジャ中学校				囲い塀および学校正門新設	
	Lo-10M	リングール	ドジ中学校				囲い塀および学校正門新設	
	Lo-15M	ルーガ	バラレ中学校				囲い塀および学校正門新設	
	Lo-16M	ルーガ	ルーガコミュニオン2中学校	切盛土(72㎡)	低木(長さ50m)	電気・給水	囲い塀および学校正門新設	

第2グループ

	コード	IDEN	学校名	造成	樹木伐採、 低木除去	電気・給水 接続工事	その他	備考
ロット 3	KA-03M	カオラック・デパートメント	クンバル中学校			給水	囲い塀および学校正門新設	給水管移設は日本側 負担工事で実施
	KA-08M	ギンギネオ	ンジャゴ中学校			電気・給水	囲い塀および学校正門新設	アンテナ小屋及び ソーラーパネル撤去は 日本側負担工事で実施
	KA-09M	ギンギネオ	ンガチエ中学校				囲い塀および学校正門新設	
	KA-10M	ギンギネオ	ンゴルム中学校				囲い塀および学校正門新設	
	KA-23M	カオラック・コミュニオン	ンダンガン中学校			電気・給水	競技場の扉移設 囲い塀および学校正門新設	
	KA-24M	カオラック・コミュニオン	カンドギャルド中学校			電気・給水	囲い塀および学校正門新設	搬入口用塀の解体と 復旧は日本国側負担で 実施
ロット 4	KA-01M	カオラック・デパートメント	チアレ中学校			給水	囲い塀および学校正門新設	
	KA-02M	カオラック・デパートメント	ケールバッカ中学校			給水	囲い塀および学校正門新設	
	KA-16M	ニオロ・ドゥ・リップ	ミシラニオロ中学校			給水	囲い塀および学校正門新設	
	KA-17M	ニオロ・ドゥ・リップ	ガントカイ中学校		樹木1本 低木(長さ23m)	電気・給水	囲い塀および学校正門新設	
	KA-18M	ニオロ・ドゥ・リップ	ケールアイボポスト中学校			給水	屠殺場移設 囲い塀および学校正門新設	

別紙 4 事業実施工程表



資料5 ソフトコンポーネント計画

ソフトコンポーネント計画書

1. ソフトコンポーネントを計画する背景

1-1. 過去のソフトコンポーネントの成果と課題

セネガル国においては、これまで5次に亘る小学校、或いは小中学校建設計画が実施され、現在、第6次案件（「ダカール州及びティエス州小中学校建設計画」（以下、「ダカール/ティエス計画」とする））が実施中である。そのうち、第4次、及び第5次計画において、施設維持管理に係るソフコンが実施された。以下に、その活動、成果、及び課題を抽出する。

(1) 第4次小学校建設計画（平成13年度）

1) 活動

学校レベルで施設維持管理のための組織を設立し、その組織を中心として学校施設維持管理、衛生に関する啓発活動を自発的・継続的に実施する体制をつくることを目的とし、以下の活動を行った。①学校施設の使用維持管理に関するガイドライン、教材、訓練カリキュラムの作成、②教員を対象とした訓練、③教員、ファシリテーターによる生徒等を対象とした訓練。

2) 成果

コミュニティの学校に対する関心を高め、地域住民を巻き込んだ自発的な施設維持管理・衛生改善活動が継続的に行われるなど、高い有効性とインパクトが認められた。

3) 課題

組織そのものの制度化には至らず、また、州視学官事務所（Inspections d'Académie. 以下「IA」とする）や県視学官事務所（Inspections Départementales de l'Education Nationale. 以下、「IDEN」とする）といった教育分権化組織、及び地方自治体の活動への関与が弱く、面的な広がりには至らなかった。

(2) 小中学校教室建設計画（第5次、平成18年度）

1) 活動

「学校運営委員会(CGE¹)のリーダーシップを通して、主体的な学校施設維持管理・衛生環境活動が実施される。」「学校に対するコミュニティの興味・関心が高まり、学校の施設維持管理・衛生活動への参加が増加する。」の2点をプロジェクト目標に、以下の活動が行われた。①ソフコン実施機関に対する研修の実施、②研修マニュアル・教材の作成、

¹ 小学校ではComité de Gestion d'Ecole、中学校ではComité de Gestion d'établissement と呼ばれる。

③現状調査、④キックオフセミナー、⑤学校運営委員会の設立、⑥学校運営計画策定・実施ワークショップ、⑦中間評価、⑧中間発表、⑨終了時評価、⑩インパクト調査、⑪学校施設維持管理・衛生活動マニュアルの策定、等。

2) 成果

実践を中心とした研修マニュアル一式が作成されたこと、対象 45 校において学校運営委員会が組織化されたこと、同様に、対象校において学校施設維持管理・衛生活動に係る計画が策定され、具体的な活動が実施されたこと、及び活動からの教訓を反映した「学校施設維持管理・衛生活動マニュアル」が作成されたこと、が挙げられる。加えて、各対象校では、以前に比べて学校活動について話し合う場が増え、自主的に施設維持管理・衛生環境改善活動が行われるようになった。

3) 課題

学校運営計画策定・実施・評価といったサイクルの定着、及び持続に課題が残された。ソフコン活動実施期間中は、県ソフコン担当者(視学官)が学校運営委員会の設立や活動実施状況に係るフォローアップを行っていた。しかし、多忙な視学官のみに頼らないフォローアップ体制を構築する必要性が浮き彫りになった。

1-2. 本プロジェクトに係る調査対象校における課題

ルーガ州及びカオラック州を対象とした本プロジェクトは、当該 2 州において、中学校を新設・増設することにより、対象校における基礎教育施設の整備、及び対象州における基礎教育へのアクセスや学習環境の改善を目指すものである。

本プロジェクトにおける対象サイトは、ルーガ州 9 校、カオラック州 11 校の計 20 校となっている。また、協力コンポーネントとして、教室、管理棟、トイレ棟、及び黒板、机、椅子といった教育家具の整備、並びに当該計画に示す施設維持管理に係るソフコン活動を行う計画である。

協力準備調査において、運営・維持管理体制等につき調査を行なった結果、以下の現状及び課題が明らかになった。

(1) 現状

1) 清掃

清掃に関しては、教室やトイレは女子が、校庭など力仕事を要する場所については男子が中心(一部男女共に)となって対応するといった、男女間の役割が明確な学校が複数あるものの、時に地域住民を伴って定期的に清掃がなされている。しかし、生徒が全く関与せず一切を近隣在住者に委託する(有料)、或いは一部委託、トイレ掃除は何らかの罰として課されるといった対応も存在しておりゴミの散在が見受けられる等、実施方

法に改善を要している。

2) 維持管理に係る基本認識

各校において、清掃や維持管理に関し、基本的には「自らの学校を自らで管理していくことが必要である」との認識が確認された。但し、後述4)にも関連するが、校長のリーダーシップ等の影響もあり、認識の度合いには学校間の格差が認められる。

3) 運営・維持管理予算

運営・維持管理に関しては、以下の資金が充てられている。①教育省予算、②地方自治体による支援、③生徒からの入学時の登録料や、生徒や保護者からの毎年の徴収金。掃除用具の購入、教室家具やドア、鍵など簡易な修理についてはこれらの資金で賄われている。

4) CGE

全校に CGE が設置されており、民主的な構成員の選出、年間計画の作成、実施、報告等、主に生徒から支払われた資金を財源として、その管理や監査を含めて活動を展開している。特に、法令で CGE の設置、構成員、活動内容等の詳細が定められていることから、各校で同法令に則った対応が取られている。しかし、維持管理の重要性の認識の度合い、取り組みへの積極性、生徒への啓発状況、校内モニタリングの実施状況等、学校間格差が認められるのと同時に、改善の余地が残されている。

(2) 課題

1) 体制の脆弱性

学校自体が新しく、CGE による運営・維持管理の経験が浅い学校が大半である²。また、全学年を満たしていない不完全校が半数近く存在し、本プロジェクトの対象となった場合、近い将来、全学年が揃う物理的条件が整うことになる。しかし、CGE の規模を徐々に拡大する必要があるなど、学校運営・維持管理体制が発展途上段階にあり、脆弱な状態にある。

²要請中学校 41 校（1 校の新設校以外）のうち、2007/08 以降設立された学校が 26 校（うち 2009/10 年度以降の設立が 18 校）、聞き取り調査を行なった 18 校のうち、11 校において 2007/08 年度以降に CGE が設立された（うち 2009/10 年度以降の設立が 9 校）。

2) 自前の学校施設の維持管理に係る未経験

上述に関連し、既存施設を有しない学校³では、自前の学校施設を維持管理した経験がないこと、間借りや仮設施設が複数の敷地に点在、更には激しく老朽化している学校もあり、自分たちの施設という意識が乏しく、清掃や維持管理自体が容易ではない、或いは取り組みに改善の余地が残されるといった現状がある。一方、トイレに関しては、ルーガ州では調査対象校中半数弱、カオラック州においては 1/4 程度の学校が有するに留まっている⁴。

今後、自分たちの学校となる新たな施設を維持管理していくに当たり、改めて体制を構築していく必要があるなど、課題が大きいことが想定される。

3) 施設メンテナンス

掃除用具の購入、簡易な修理について上述の予算内で対応しているものの、窓などの破損、壁の塗り替え等、容易に対処できない事項については放置されている。これは、現行の予算内（CGE 資金）で対応できかねることが主な原因となっている。

1-3. ソフトコンポーネント実施の必要性

上述の過去の案件におけるソフコン活動からの課題、及び上記の本プロジェクトに係る課題を鑑み、本プロジェクトで整備された施設が適切な運営・維持管理の下に長く活用されるためには、

1) トイレを含め施設を衛生的に使用するために日常的な清掃を行い、破損等の発生を最小限に留めるべく予防の重要性を再認識すると共に、メンテナンスへの対応の仕方が把握されるよう施設に対する知識、及び不備が発生した場合の対処法に係る知識を醸成する、

2) IA、IDEN の他、各校の運営・維持管理に関わる地方自治体や、コミュニティにおける既存の運営委員会の関心・関与、及び関係を強化すると共に資金協力の拡充を図る、

3) 施設の衛生管理や予防を含めた維持管理に係るモニタリングが定期的に実施される体制を強化する、

といった 3 点を促進し、本プロジェクトで整備された施設が、学校関係者のみで持続的に運営・維持管理されるようソフコンを実施することが必要である。

1-4. 他の関連案件との相乗効果

セネガル国では、JICA の技術協力プロジェクトである「教育環境改善プロジェクトフェーズ 2 (Projet d' Amélioration de l' Environnement Scolaire (PAES) Phase 2)」(以下「PAES 2」とする) が 2010 年 9 月～2014 年 8 月までの 4 年間の予定で実施中である。PAES

³ 学校自体は開校しているものの、間借りや仮設施設に依存し、独自の施設が確保できていない学校。要請中学校 41 校中（新設校 1 校以外）29 校が既存施設を有さない。

⁴ トイレ保有校 ルーガ州：18 校中 8 校、カオラック州：24 校中 5 校。

フェーズ 1（以下、「PAES」とする）はルーガ州の全ての小学校を対象に実施され、機能する CGE による学校運営モデルが作成された。PAES 2 においては、PAES のモデルとファティック州でのパイロット事業を基に全国への普及が計画されている。

本プロジェクトは中学校を対象としているが、同プロジェクトの対象地域であるルーガ州においては、PAES、及び PAES 2 が全小学校を対象としていることから、これらのプロジェクトによって CGE が活性化された小学校に通学していた生徒が本プロジェクトの対象校にも進学していると考えられる。加えて、PAES や PAES 2 では、州及び県視学官を講師として研修を行い、モニタリングについても同視学官が関与していることから、本計画においては、これらの視学官を活動に巻き込むことによって PAES、PAES 2 の経験・知見を有効活用する。同時に、対象地域の教育委員会等、関係機関に青年海外協力隊（以下、「JOCV」とする）が配属されている場合においては、当該隊員と適宜情報共有を図ることとする。

なお、先行の「ダカール／ティエス計画」で使用予定の運営・維持管理用マニュアルについては、上述の過去の無償資金協力 2 案件のソフコンにおいて作成されたマニュアルに必要な改善を加えることが計画されている。本計画では、同計画で作成されるマニュアルに、更に改善を要した場合は改訂を施すこととする。また、本計画においては、「ダカール／ティエス計画」における瑕疵検査状況を確認し、施工上の不具合や使用中で破損が生じた際の対処法等、メンテナンス方法や予防策などの経験の共有ができる。

このように、過去の案件を含めた我が国の他の支援との有機的連携により、相乗効果の発現が期待されると共に、セネガル国の教育改善に総合的に寄与することが可能となる。

2. ソフトコンポーネントの目標

本ソフコン計画の目標は以下のとおりとする。

上位目標	整備された施設が良好な状態に保たれる。
目標	整備された施設に係る維持管理体制が強化される。

3. ソフトコンポーネントの成果

上記目標の達成に向け以下の成果を設定する。

- 成果 1 整備された施設の維持管理方法に係る知識が醸成され、日常的に清掃・管理が行われる。
- 成果 2 IA、IDEN、関連地方自治体、コミュニティにおける既存の運営委員会、その他外部機関との関係を強化すると共に、維持管理に係る資金の拡充が図られる。
- 成果 3 施設の衛生管理、及び維持管理に係るモニタリングが定期的に行われる。

4. 成果達成度の確認方法

上述に鑑み、各校における運営・維持管理に関し、当該ソフコンを通じて改善を要する、或いは求められる事項として主に以下が挙げられる。

- 1) 清掃に関しては、生徒の主体性が確保されていない学校があること、また、ゴミが散在しているなど、各自のゴミの管理（ゴミ箱を活用しないなど）に問題がある。また、費用捻出が容易ではない規模の破損についてはメンテナンスがなされていないことから、日頃から破損等の予防に心がけることが求められる。
- 2) 上記に関連し、現行の CGE 予算では対応困難な破損等が生じた場合などを考慮し、また、地域を含めた学校関係者の学校に対する理解の深化の面においても、コミュニティや関連機関の学校に対する関心・関与の度合いを深め、同時に学校支援資金の拡充を図ることが必要である。
- 3) プロジェクト対象校には新設校も含まれ、一方で本プロジェクトにより施設数、及び収容可能な生徒数が増えることから、CGE や取り扱う活動の規模についても拡大されることになる。従って、それに備えるべく体制強化を図る必要がある。加えて、本件に関する校長のリーダーシップの度合いによる、地域を含めた学校の取り組み状況の格差についても指摘される。このような学校間格差の是正、及び上記の清掃等を含めた維持管理状況に係るモニタリングの定期的な実施、それによる運営・維持管理体制の強化、及び活動の継続化を図ることが必要である。

なお、指標の数値目標に関しては、ソフコン開始時に実施予定のベースラインサーベイ結果を踏まえ、数値化可能な項目を幾つか取り上げて具体化し、エンドラインサーベイ結果と比較する。

下表に各成果に対する活動及び達成度の確認方法を示す。

成果	活動	達成度確認方法
1. 整備された施設の維持管理方法に係る知識が醸成され、日常的に清掃・管理が行われる	1-1. 既存マニュアルのレビュー、及び必要に応じた改善 1) 過去のソフコン活動において作成されたマニュアルに、必要な改善を加える予定の「ダカール/ティエス計画」で活用されるマニュアルをレビューする。既存マニュアルには、①衛生・環境問題、及びその解決法、②トイレの構造、③CGE の設立、④施設の詳細、及び発生しやすい破損状況、それに対するメンテナンス法等が盛り込まれている。なお、「ダカール/ティエス計画」では、構造上の相違点を基に内容の変更、及び挿絵を差し替える、CGE 設立に係る箇所は含めない(既に設立されているため)といった事項が検	1. 1. 1) マニュアルレビュー状況、改善の必要性の有無につき確認。 2) 1) でマニュアルが改善され

	<p>討されている。</p> <p>2) 上記 1)を基に、予防策を含める、また、男女間の役割分担、或いは共同の選択肢に係る言及の是非を、コミュニティにおける既存の運営委員会を含めた関係者間で協議する。その結果に基づき、必要に応じた追記等を行う。</p> <p>1-2. 施設の構造に係る講習の実施</p> <p>1) 校舎の構造</p> <p>2) トイレの構造</p> <p>1-3. 基礎的衛生に係る講習の実施</p> <p>1) 上述マニュアルを基に、また、「ダカール/ティエス計画」での課題や教訓等を確認の上、本件に係る講習内容を検討し、計画を策定する。</p> <p>2) 上記 1)に則り、ルーガ州（第 1 グループ）6 ブロック（6 ヶ所）において講習会を実施する。</p> <p>3) ルーガ州での課題と教訓を取りまとめ、カオラック州における講習内容を再確認する。</p> <p>4) カオラック州(第 2 グループ) 8ブロック(8 ヶ所)において講習会を実施する。</p> <p>1-4. 予防的維持管理に係る講習の実施</p> <p>1) 上記 1-3. と同様に、マニュアル、及び「ダカール/ティエス計画」での課題や教訓等を基に、本件に係る講習内容を検討し、計画を策定する。</p> <p>2) 上記 1)に則り、第 1 グループ 6 ブロックにおいて講習会を実施する。</p> <p>3) ルーガ州での課題と教訓を取りまとめ、カオラック州における講習内容を再確認する。</p> <p>4) 第 2 グループ 8 ブロックにおいて講習会を実施する。</p> <p>1-5. 瑕疵検査で不具合があった場合の対処法の確認</p> <p>1) 先行案件のダカール州における瑕疵検査結果、及び教訓を共有する。</p> <p>2) ルーガ州において瑕疵検査結果に基づく対処を施す</p>	<p>た場合は、成果品である改訂版マニュアルを確認。</p> <p>上記の共通事項マニュアルが有効活用されているかを、モニタリング等を通じて確認。</p> <p>1-2. 下記「各講習共通」事項を参照。</p> <p>1-3.</p> <p>1)・3) 基礎的衛生に係る講習会計画書(必要に応じた修正版)</p> <p>2)・4) 清掃頻度、清掃状況、ゴミの管理の仕方をモニタリング報告書で確認(モニタリング時のチェック項目への回答状況等により、各校の計画に基づいた清掃が行われているか、また学校の清潔さ等を確認)。</p> <p>1-4.</p> <p>1)・3) 予防的維持管理に係る講習会計画書(必要に応じた修正版)、また、モニタリング報告書より、施設や家具の取り扱い状況を確認(「壊れてから直す」ではなく、「破損を予防する」思想・姿勢に転換し、より長く快適に活用できる基盤の整備、更には経費削減にもつながるといった認識の有無を確認)。</p> <p>各講習共通：</p> <p>・出席者リスト(予定出席者中、</p>
--	---	--

	<p>(該当する場合)。</p> <p>3) ルーガ州における瑕疵検査結果、及び教訓をカオラック州と共有する。</p>	<p>各ポジション (IA、IDEN、関連自治体等)からの出席確保状況、及び安定した出席率確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート(ベースラインとエンドラインサーベイ結果比較 (各種講習内容の理解状況 (長期的には、メンテナンスへの対応がし易くなることが期待される))、実践状況(破損が生じる度合いや程度の軽減、及び破損が生じた場合の対応につき確認)
<p>2. IA、IDEN、関連地方自治体、コミュニティにおける既存の運営委員会、その他外部機関との関係を強化すると共に、維持管理に係る資金の拡充が図られる</p>	<p>2-1. 年間維持管理計画策定に係る講習の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各校における既存の年間計画をレビューする。 2) 年間維持管理計画策定に係る問題点を抽出する。 3) 年間維持管理計画の修正を行う。 <p>2-2. 中期維持管理計画策定に係る講習の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 中期維持管理計画策定に係る意義を明確にする。 2) 中期維持管理計画を策定する。 <p>2-3. 資金の拡充方法に係る講習の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 上記、2-1. 及び 2-2. に関連し、現在の収入源を再確認する。 	<p>2-1. 共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者リスト ・(改訂版) 年間維持管理計画 ・アンケート (ベースラインとエンドラインサーベイ結果比較 (各校における従来の年間計画に係る問題点の改善状況、及び計画の実践状況を確認)) <p>2-2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者リスト ・中期維持管理計画 ・アンケート (ベースラインとエンドラインサーベイ結果比較 (維持管理計画を中期的展望に立って策定することで、特に建具・鉄骨塗装、電球交換といった数年に1度対応を要する事項に備え、且つ5年以上のスパンで対応を要する外部・内部塗装などにも徐々に備えるべく、その状況を確認) <p>2-3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者リスト ・アンケート (ベースラインとエンドラインサーベイの調査

	<p>2) 関連する外部機関（自治体等）からの支援の強化、及び他の外部機関への働きかけの可能性を検討する。</p> <p>3) 上記を実践する。</p> <p>2-4. 関係者間での施設建設進捗状況、及び施設情報の共有</p> <p>1) 建設中の施設情報を毎月 IA、IDEN に提供。</p>	<p>結果比較（資金源、及び予算総額が拡充しているかを確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CGE 定期会合出席者リスト、及び議事録（関連外部機関関係者の出席状況の改善度合いを確認） <p>2-4.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート、校長からのヒアリング（施設の建設進捗状況を学校関係者が把握し、新校舎がより身近に感じられるよう共有された情報への反応を確認（目的が達成されているか）。
<p>3. 施設の衛生管理、及び維持管理に係るモニタリングが定期的に行われる</p>	<p>3-1. モニタリング体制の構築</p> <p>1) 各校においてモニタリングチームを結成する。</p> <p>2) 施設の清掃、及び維持管理状況のモニタリングに係る計画を策定する（モニタリング項目、頻度）。</p> <p>3) モニタリングを定期的実践する。</p>	<p>3-1.</p> <p>1) チーム構成表</p> <p>2) 各校におけるモニタリング計画書</p> <p>3) モニタリング報告書（モニタリングによるチェック体制強化による維持管理体制の改善状況についても確認）。なお、校長のリーダーシップについては、ローカル NGO が模範例を抽出し、各校と共有することで学校間格差の軽減を図る。</p>

5. ソフトコンポーネントの活動

(1) 対象者

- ・ルーガ州：中学校 9 校
- ・カオラック州：中学校 11 校

上記計 20 校における校長、教員、生徒、保護者会（以下、「APE⁵」とする）等の代表を含めた CGE、他の APE メンバー、地域住民、コミュニティにおける既存の運営委員会を含めた学校の運営・維持管理に責任を有する地方自治体関係者。

なお、以下のグループ、及びブロックに分けて活動を実施する。詳細は後述。

⁵ Association des Parents d'Elèves

1) 第一グループ：ルーガ州

IDEN	ブロック	自治体	ID	学校名
リンゲール 3校	1	Com ダーラ	Lo-08M	FA ダーラ中学校
	2	CR ドジ	Lo-09M	カジマジャ中学校
			Lo-10M	ドジ中学校
ルーガ 3校	3	Com ルーガ	Lo-14M	トゥーバセラス中学校
			Lo-16M	ルーガコミュニケーション2中学校
ケベメール 3校	5	CR ダルムスティ	Lo-20M	カネンジョブ中学校
			Lo-21M	ダルムスティ2中学校
	6	Com ケベメール	Lo-23M	FA ケベメール中学校

2) 第二グループ：カオラック州

IDEN	ブロック	自治体	ID	学校名
カオラック・デパートメント 3校	1	CR チアレ	KA-01M	チアレ中学校
	2	CR ケールバッカ	KA-02M	ケールバッカ中学校
	3	CR ラトミン	KA-03M	クンバル中学校
ギンギネオ 3校	4	CR ンジャゴ	KA-08M	ンジャゴ中学校
	5	CR ンガチェ	KA-09M	ンガチェ中学校
			KA-10M	ンゴルム中学校
ニョロ デウ リップ 3校	6	ガントカイ	KA-16M	ミシラニョロ中学校
			KA-17M	ガントカイ中学校
	7	メディナサバク	KA-18M	ケールアイブポスト中学校
カオラック・コミュニケーション 2校	8	Com カオラック	KA-23M	ンダンガン中学校
			KA-24M	カンドギャルド中学校

(2) 実施予定時期

ルーガ州における建設開始後 2013 年 4 月下旬頃～カオラック州における施工検査後から瑕疵検査までの中間時点である 2015 年 7 月頃に実施。

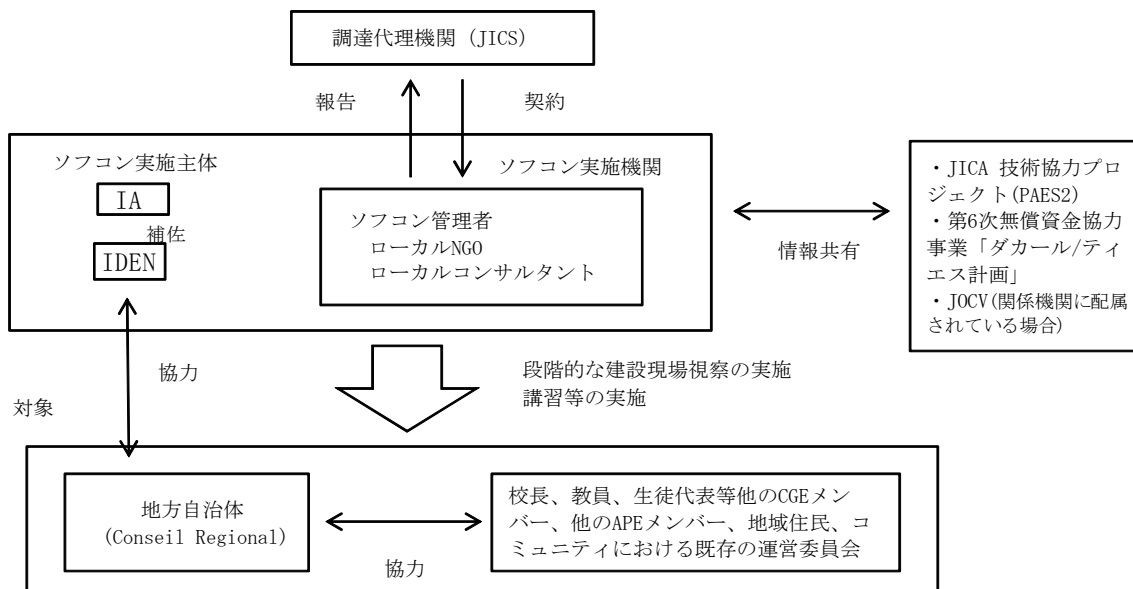
(3) 実施体制

実施主体は、中学校を管轄するルーガ州及びカオラック州の IA を中心とする。但し、計画対象校が所在する 7 つの IDEN については、対象校の所在地域をより理解していることを鑑み、IA を補佐することとする。本邦コンサルタントが「ソフコン管理者」として活動全体の監督を行い、ローカル NGO、及びローカルコンサルタントが本邦コンサルタントからの委託を受けて活動を実施する。

なお、本プロジェクトは PAES 2 と対象地域及び活動期間が重なり、また「ダカール/ティエス計画」とも活動期間が重なる。従って、当該両プロジェクトと適宜情報

共有を行う。

以下に実施体制を示す。



(4) 活動内容

活動の段階分け、及び概要は以下のとおり。なお、各活動項目、及び番号については「4. 成果達成度の確認方法」に同じ(一部関連項目)。

① 立ち上げ段階

時期	第1グループの建設開始後
期間(予定)	2013年4～5月頃に3週間程度
実施場所	ルーガ州
実施者	ソフコン管理者、ローカルNGO、ローカルコンサルタント
対象者	IA、IDEN (ソフコン管理者、ローカルNGO、ローカルコンサルタント)
目的	活動全般に係る確認
活動内容	1-1. 既存マニュアルのレビュー、必要に応じた改善、他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存マニュアルのレビュー、必要に応じたマニュアルの改訂作業(男女間の役割の区別の取り扱い等、考慮すべき事項を検討。マニュアル関連については、ソフコン管理者、ローカルNGO、ローカルコンサルタントの三者を中心に作業を実施するが、内容についてはIA、及びIDENと協議を行う。また、コミュニティにおける既存の運営委員会代表者の見解についても確認する。)(→成果1、成果2(関与の機会を増やす)) ・ ソフコン活動の目的、詳細内容、役割分担の確認 ・ 今後の講習内容の確認(先行の「ダカール/ティエス計画」に係る課題や教訓等の確認、今後の活動への反映を含む) ・ ベースラインサーベイの実施(指標設定含む)

② 建設現場視察・各種講習会の実施段階

時期	上記①終了後、校舎及びトイレ建設時
期間(予定)	第1グループ：2013年5月頃～6月頃 第2グループ：2014年5月頃～6月頃
実施場所	ブロック別に実施 第1グループ：ルーガ州 6ヶ所 第2グループ：カオラック州 8ヶ所
実施者	ローカル NGO、ローカルコンサルタント（IA、IDEN は学校や管轄する自治体への連絡等に便宜を図る）
対象者	校長、教員、生徒（建設現場視察、衛生・予防的維持管理・施設構造の各講習に代表者が参加）、APE 等の代表を含めた CGE、他の APE メンバー、地域住民、コミュニティにおける既存の運営委員会を含めた学校の運営・維持管理に責任を有する地方自治体関係者
目的	施設の衛生管理・維持管理の重要性の理解の強化、施設の衛生管理・維持管理に係る基礎的知識の習得
活動内容	1-2. 施設の構造に係る講習の実施 ・ トイレを含めた建設現場視察 ・ 施設の構造に関する講習の実施（上記現場視察と合わせて実施） 1-3. 基礎的衛生に係る講習の実施 1-4. 予防的維持管理に係る講習の実施 1-5. 瑕疵検査で不具合があった場合の対処法の確認 2-1. 年間維持管理計画策定に係る講習の実施 ・ 年間計画の見直し、年間維持管理計画策定に係る講習の実施（→成果2） 2-2. 中期維持管理計画策定に係る講習の実施（→成果2） 2-3. 資金の拡充方法に係る講習の実施（→成果2） なお、当該段階において、モニタリング体制構築への事前準備として、モニタリングに係る講習についても実施する。 （上記全活動→成果1）

③ 各学校による活動段階

時期	上記②の第1段階終了後
期間(予定)	第1グループ：2013年6月頃～11月頃（但し、夏季休暇期間が含まれる） 第2グループ：2014年5月頃～11月頃（同上）
実施場所	各校で実施 第1グループ：ルーガ州の各校（9校） 第2グループ：カオラック州の各校（11校）
実施者	CGE、CGE メンバー以外の学校関係者、地域住民、コミュニティにおける既存の運営委員会を含めた学校の運営・維持管理に責任を有する地方自治体関係者（ローカル NGO による側面支援の下に実施。IA、IDEN は学校や管轄する自治体への連絡等に便宜を図る）
目的	各学校における講習会等での習得事項の実践
活動内容	2-1. 年間維持管理計画策定に係る講習の実践 ・ 年間計画の見直し、年間・中期維持管理計画策定、及び実践（資金拡充に関し、CGE 会合への地方自治体（州）等の定期参加を促し、資金確保を活性化）（→成果2） 2-2. 中期維持管理計画策定に係る講習の実践（→成果2） 2-3. 資金の拡充方法に係る講習の実践（→成果2） 2-4. 関係者間での施設建設進捗状況、及び施設情報の共有 ・ 建設に係る進捗状況や施設情報を、管轄する自治体、地域住民等と共有（情

	<p>報はローカル NGO が提供) (→成果 2)</p> <p>3-1. モニタリング体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校におけるモニタリングチーム⁶の結成 (→成果 3) モニタリングにおけるチェック項目、頻度を含めたモニタリング計画の策定 (→成果 3) モニタリングの実践 (→成果 3)
--	--

④ フォローアップ段階

時期	<p>(1) 建設終了間近</p> <p>(2) 第1グループ：ダカール州における瑕疵検査終了後 第2グループ：ルーガ州における瑕疵検査終了後</p> <p>(3) 第1グループ：ルーガ州における瑕疵検査終了後 第2グループ：カオラック州における施工検査後から瑕疵検査までの中間時点</p>
期間(予定)	<p>(1) 第1グループ：2013年11月頃 第2グループ：2014年11月頃</p> <p>(2) 第1グループ：2014年4月～5月頃 第2グループ：2015年2月頃</p> <p>(3) 第1グループ：2015年1月～2月頃 第2グループ：2015年7月頃</p>
実施場所	<p>ブロック別の実施</p> <p>第1グループ：ルーガ州 6ヶ所 第2グループ：カオラック州 8ヶ所</p>
実施者	ローカル NGO (IA、IDEN は学校や管轄する自治体への連絡等に便宜を図る)
対象者	CGE、CGE メンバー以外の学校関係者、地域住民、コミュニティにおける既存の運営委員会を含めた学校の運営・維持管理に責任を有する地方自治体関係者。なお、FU(2)に関しては、各校2名(校長・CGE 代表者)、及び IA、IDEN 担当者。
目的	活動のフォローアップ (FU)。本計画で導入される運営・維持管理に係る各種取り組みを各州、各校で定着させ、当該活動が継続的・持続的に実践されるよう本ソフコン活動で複数回に亘ってフォローし、徹底したに基盤固めを行う。
活動内容	<p>FU(1)</p> <p>1-2. 施設の構造に係る講習、1-3. 基礎的衛生に係る講習、及び1-4. 予防的維持管理に係る講習の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の衛生管理・維持管理(予防的維持管理含む)に係る実践状況確認 (→成果 1) <p>2-1. 年間維持管理計画策定に係る講習、及び2-2. 中期維持管理計画策定に係る講習の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間維持管理計画、及び中期維持管理計画(部分的)の実践状況確認(資金拡充状況含む) (→成果 2) <p>3-1. 定期モニタリングの実践(3-1. の 3))</p> <ul style="list-style-type: none"> モニタリングの実践状況確認 (→成果 3) 各校の校長のリーダーシップに係る模範例の抽出、及びその共有 (→成果 3)

⁶ モニタリングチーム構成員：通常、CGE が中心となって各校の施設状況を確認しているが、本計画では、CGE のみならず、地域住民、コミュニティにおける既存の運営委員会、地方自治体関係者などでチームを結成し、共にモニタリングを行うことで、日頃から学校以外の関係者が学校運営やその維持管理に関与・関心を深められるよう、各校におけるモニタリング体制を強化する(過去の案件の教訓から、行政からの支援のみに頼らない体制構築を図ることの重要性の認識)。

	<p><u>FU(2) (巡回説明)</u></p> <p>2-4. 関係者間での施設建設進捗状況、及び施設情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前準備として、第1グループに関しては、ローカルNGO及びローカルコンサルタントによる「ダカール/ティエス計画」のダカール州における瑕疵検査状況を視察、及び本プロジェクトで活用可能な事例のまとめを行う。 ・ 第1グループに関しては、「ダカール/ティエス計画」での事例とその対処法を紹介する。また、各校における年間維持管理計画、及び中期維持管理計画(部分的)の実施状況(資金拡充状況含む)等に係るヒアリングを行う(9校を8ヶ所に分け2日間で巡回)。(→成果1、及び2) ・ 第2グループについては、ルーガ州における瑕疵検査の結果や、第1グループのFU(3)の状況、及びその際の対処法を紹介する。また、各校における年間維持管理計画、及び中期維持管理計画(部分的)の実施状況(資金拡充状況含む)等に係るヒアリングを行う(11校を10ヶ所に分け3日間で巡回)。(→成果1、及び2) <p><u>FU(3)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 瑕疵検査状況確認・対処を含め、これまでの講習会での習得事項及び実践状況の最終確認(→成果1、2、3)。 ・ 年間維持管理計画、中期維持管理計画の実施状況最終確認(資金拡充状況含む)(→成果2) ・ 各校における上記活動を継続させるための目標、及び実践計画の策定 ・ エンドラインサーベイの実施
--	--

先述のとおり、各活動は区分されたブロック毎に実施する。具体的には、建設現場視察・講習会及びフォローアップ(1)・(3)は、ブロック内の1校(パイロット校)で行う。なお、最終的なブロック構成は、立ち上げ段階においてIA、IDENと協議の上決定する。また、パイロット校は建設の進捗等によって決定する。

(5) 各ステークホルダーの役割

上記の実施体制に係る各ステークホルダーの役割は以下のとおり。

ステークホルダー名	役割
調達代理機関	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本邦コンサルタントとの契約 2. 施主への報告
ソフコン管理者 (邦人)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前準備 <ol style="list-style-type: none"> 1-1 ローカルNGO、ローカルコンサルタントの調達 1-2 既存マニュアルの精査 1-3 ベースライン(エンドライン含む)サーベイ用質問票作成 2. 活動開始支援 <ol style="list-style-type: none"> 2-1 ソフコン活動内容の共有、責任分担等の確認 2-2 既存マニュアルの改善支援 2-3 「ダカール/ティエス計画」におけるソフコン活動の状況確認・情報共有 2-4 建設現場視察・講習会の実施支援(トライアル2回、ベースラインサーベイ含む) 2-5 報告、今後の活動への助言 3. 進捗管理、報告書作成等 <ol style="list-style-type: none"> 3-1 建設現場視察・講習会の実施段階における進捗管理 3-2 各校による活動段階における進捗管理

本邦 コン サル タント		<p>3-3 フォローアップ段階(1)、(2)における進捗管理 (第1、第2グループ)</p> <p>3-4 中間報告書の作成 (第1グループ)</p> <p>3-5 フォローアップ段階(3)における進捗管理 (第1、第2グループ)、(エンドラインサーベイ含む)</p> <p>3-6 最終報告書の作成 (2州)</p> <p>4. 成果確認</p> <p>4-1 進捗確認</p> <p>4-2 ルーガ州での瑕疵検査状況を踏まえた、カオラック州におけるフォローアップ会(3)への参加 (2ヶ所)</p> <p>4-3 報告</p>
	ローカル NGO	<p>1. 活動の立ち上げ</p> <p>1-1 ソフコンの活動内容の共有、責任分担等の確認</p> <p>1-2 ソフコン管理者、ローカルコンサルタントと共に既存マニュアルの見直し、必要に応じた改訂</p> <p>1-3 ベースライン (エンドライン含む)サーベイ用質問票作成</p> <p>2. 建設現場視察・講習会の実施</p> <p>2-1 IA、IDEN の協力の下、関連自治体、及び学校への連絡</p> <p>2-2 基本的衛生、及び予防的維持管理に係る講習会の実施(ベースラインサーベイ含む)</p> <p>2-3 年間計画の見直し、及び年間・中期維持管理計画策定に係る講習会の実施</p> <p>2-4 資金拡充方法に係る講習会の実施</p> <p>2-5 各校への活動説明</p> <p>3. 各校による活動の進捗状況確認</p> <p>3-1 施工監理コンサルタントから得られた建設中の施設の情報をとりまとめて IA、IDEN に提供 (毎月)</p> <p>3-2 上記情報の活用状況の確認</p> <p>4. フォローアップ会(1)の実施</p> <p>4-1 IA、IDEN の協力の下、関連自治体、及び学校への連絡</p> <p>4-2 講習会で実施した内容の再確認(実践状況確認)</p> <p>4-3 各校における新計画 (年間・中期)、及び資金拡充に係る働きかけ等の進捗状況確認</p> <p>5. フォローアップ会(2) (巡回説明)の実施</p> <p>5-1 (事前準備)</p> <p>第1グループ分:「ダカール/ティエス計画」におけるダカール州の瑕疵検査状況を視察し、本プロジェクトで活用可能な事例をまとめる。</p> <p>第2グループ分:ルーガ州における瑕疵検査の結果、及び同州での瑕疵検査時フォローアップ状況をまとめる(共有)。</p> <p>5-2 IA、IDEN の協力の下、関連自治体、及び学校への連絡</p> <p>5-3 第1グループ:「ダカール/ティエス計画」での事例とその対処法の紹介。各校における年間維持管理計画、中期維持管理計画(部分的)の実施状況(資金拡充状況含む)等に係るヒアリング (9校を8ヶ所に分け2日間で巡回)</p> <p>第2グループ:ルーガ州における瑕疵検査の結果、第1グループのFU(3)の状況、及びその際の対処法の紹介。各校における年間維持管理計画、中期維持管理計画(部分的)の実施状況(資金拡充状況含む)等に係るヒアリング(11校を10ヶ所に分け3日間で巡回)</p>

		<p>5-4 維持管理計画（年間・中期）、及び資金拡充に係る働きかけ等の進捗状況確認</p> <p>6. フォローアップ会(3)の実施</p> <p>6-1 IA、IDEN の協力の下、関連自治体、及び学校への連絡</p> <p>6-2 第 1 グループ：瑕疵検査状況確認・対処を含め、これまでの講習会での習得事項及び実践状況の最終確認。年間維持管理計画、中期維持管理計画の実施状況最終確認（資金拡充状況含む）</p> <p>第 2 グループ：上記事項の中間状況確認</p> <p>6-3 各校における諸活動を継続させるための目標、及び実践計画の策定</p> <p>6-4 各校における校長のリーダーシップに係る模範例の抽出、及びその共有</p> <p>6-5 エンドラインサーベイの実施</p> <p>7. 報告</p> <p>7-1 上記 2. ～6. についてソフコン管理者への定期報告</p>
	ローカルコンサルタント	<p>1. 活動の立ち上げ</p> <p>1-1 ソフコンの活動内容の共有、責任分担等の確認</p> <p>1-2 ソフコン管理者、ローカル NGO と共に既存マニュアルの見直し、及び必要に応じた改訂（主に建物の構造に関する図面、挿絵等を担当）</p> <p>2. 建設現場視察・講習会の実施</p> <p>2-1 校舎、及びトイレの構造に係る講習の実施</p> <p>2-2 トイレを含めた施設清掃・維持管理に関する留意点に係る講習</p> <p>3. フォローアップ会(2) (巡回説明)の実施支援</p> <p>3-1 (事前準備)</p> <p>第 1 グループ：「ダカール/ティエス計画」における、ダカール州での瑕疵検査状況を視察し、本プロジェクトで活用可能な事例をまとめる。</p> <p>第 2 グループ：ルーガ州における瑕疵検査の結果、及び同州での瑕疵検査時フォローアップ状況をまとめる。</p> <p>3-2 第 1 グループ：「ダカール/ティエス計画」での事例とその対処法の紹介等に係るローカル NGO の補佐</p> <p>第 2 グループ：ルーガ州での事例とその対処法の紹介等に係るローカル NGO の補佐</p> <p>3-3 上記に関連し、瑕疵検査後、及び中間時点での各施設不備に係る対処法(メンテナンス方法)説明</p> <p>4. フォローアップ会(3)の実施支援</p> <p>4-1 瑕疵検査状況確認・対処を含め、講習会で実施した内容の最終確認(実践状況確認)、及び助言の提示</p>
実施主体	IA/IDEN	<p>1. 活動全般の把握</p> <p>1-1 ソフコンの活動内容、責任分担等の確認</p> <p>1-2 マニュアルの内容確認</p> <p>1-3 建設現場視察・講習会への参加</p> <p>1-4 フォローアップ会(1)、(2)、(3)への参加</p> <p>2. 活動全般における便宜供与</p> <p>2-1 対象校、地方自治体への連絡支援、ベースライン・エンドラインサーベイ実施支援、校長のリーダーシップに係る模範例の抽出への支援</p> <p>3. 建設中の施設の情報配布・管理</p> <p>3-1 ローカル NGO 提供情報(建設中の施設(既存校))を学校に配布</p> <p>3-2 ローカル NGO 提供情報(建設中の施設(新設校))を関連自治体に</p>

		配布 3-3 配布情報の共有状況確認
対象者	自治体	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場視察・講習会への参加 建設中の施設（新設校）情報を地域住民と共有 学校年間計画・中期維持管理計画策定、及び実践支援 CGE 会合への参加 フォローアップに係る各活動への参加 モニタリング実施
	学校（校長、教員）	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場視察・講習会への参加 建設中の施設（既存校）情報を生徒、自治体、CGE、他の APE メンバー、地域住民と共有 年間計画の見直し 年間計画及び中期維持管理計画策定、及び実践 フォローアップに係る各活動への参加 モニタリング実施
	生徒代表（CGE メンバー以外）、CGE、他の APE メンバー、地域住民	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場視察・講習会への参加 学校年間計画・中期維持管理計画策定、及び実践支援 フォローアップに係る各活動への参加 モニタリング実施

(6) 投入計画

各期における投入（人・月）は以下のとおり。（詳細は下記 7. 工程表参照）

要員	人・月（M/M）
ソフコン管理者（邦人）	国内 22（1.10 M/M）（1ヶ月を 20 日として算出） 現地 46（1.53 M/M）（1ヶ月を 30 日として算出）
ローカル NGO（啓発活動担当）	150（5.00 M/M）
ローカルコンサルタント（技術部門担当）	76（2.53M/M）
合計	10.16 M/M

1) ソフコン管理者（邦人）の配置期間と活動内容詳細

		活動内容	国内作業	現地作業
1	事前準備			
	1-1	ローカル NGO、ローカルコンサルタントの調達	—	
	1-2	既存マニュアルの精査、及びベースラインサーベイ用質問票作成（エンドライン時考慮）	5	
2	活動開始支援			
	往復（東京→ダカール→東京）			5
	セネガル国内移動			2
	2-1	ソフコンの活動内容、責任分担等の確認		
		教育省、調達代理機関、技プロとの打合せ・情報共有		1
		ローカル NGO、ローカルコンサルタントとの打合せ		1
		カオラックの IA、IDEN との打合せ、ベースラインサーベイ質問票配布、JOCV との情報共有（該当あれば）		1
		ルーガの IA、IDEN との打合せ、ベースラインサーベイ質問票配布、JOCV との情報共有（該当あれば）		1
	2-2	マニュアル改訂支援		
		修正作業		3

	印刷、製本等		1
2-3	「ダカール/ティエス計画」におけるソフコン活動の状況確認・情報共有		
	「ダカール/ティエス計画」実施の数校訪問、インタビュー		1
2-4	建設現場視察・講習会の実施支援（トライアル2ヶ所）		
	スケジュール作成、ロジ面手配		2
	準備		2
	視察・講習会参加		2
2-5	報告、今後の活動への助言		
	資料整理等		3
	教育省、調達代理機関への報告、技プロとの意見交換		1
	ローカル NGO、ローカルコンサルタントへの引継ぎ		1
3	進捗管理、報告書作成等		
3-1	建設現場視察・講習会の実施段階における進捗管理（第1、第2グループ）	3	
3-2	各学校による活動段階における進捗管理（第1、第2グループ）	4	
3-3	フォローアップ段階(1)、(2)（巡回説明）における進捗管理（第1、第2グループ）	4	
3-4	中間報告書の作成（第1グループ）	1	
3-5	フォローアップ段階(3)における進捗管理（第1、第2グループ、エンドラインサーベイ含む）	4	
3-6	最終報告書の作成	1	
4	成果確認		
	往復（東京→ダカール→東京）		5
	セネガル国内移動		3
4-1	進捗確認		
	ローカル NGO、ローカルコンサルタントとの打合せ		1
	ルーガの JOCV との情報共有（該当あれば）（移動日に含む）		
	ルーガの IA、IDEN との打合せ		1
	ルーガ州進捗確認（学校視察）		2
	カオラックの JOCV との情報共有（該当あれば）（移動日に含む）		
	カオラックの IA、IDEN との打合せ		1
4-2	フォローアップ会(3)への参加（第2グループ）		
	フォローアップ会準備支援・確認		1
	フォローアップ会(3)同行（中間状況確認含む、エンドラインサーベイ含む）		2
4-3	報告		
	資料整理等		2
	教育省への報告		1
	合計	22	46

2) ローカル NGO (啓発活動担当) の配置日数内訳

活動段階	内容	日数	日数内訳
	活動の立ち上げとトライアル実施(ルーガ州における現場視察・講習会6回中2回をトライアルとして実施)	20	ソフコン管理者と共に活動
ルーガ 第1 グループ	建設現場視察・講習会(トライアル対象以外の4回)の実施	12	関係者との連絡等業務 ⁷ 3次回以降のスケジュール等につき、改めて入念に説明)、視察・講習会準備 ⁸ 3、ベースラインサーベイ質問票回収、視察・講習会実施4(ソフコン管理者と2回実施済み)、移動2
	各学校による活動の進捗状況確認(約6ヶ月間)	18	関係者との連絡等業務6、移動12(1泊2日x6回)
	フォローアップ会(1)(6回)の実施	10	関係者との連絡等業務1、準備1、フォローアップ会6回(校長のリーダーシップに係る模範例抽出、及びその共有を含む)、移動2
	ダカールにおける瑕疵検査同行	2	
	ダカールにおける教訓整理	1	
	フォローアップ会(2)(巡回説明)の実施(2日間で8ヶ所巡回)	6	関係者との連絡等業務1、準備1、巡回説明(Comルーガ対象校はIAルーガにて、IDENルーガと共に実施。その他は、各IDEN最寄り校にIDEN担当者を招き説明)。移動2
	フォローアップ会(3)(6回)の実施(瑕疵検査状況確認等含む)	10	関係者との連絡等業務1、準備1、フォローアップ会6回(エンドラインサーベイ含む)、移動2
	報告書作成等	3	
カオラック 第2 グループ	建設現場視察・講習会(8回)の実施	16	関係者との連絡等業務3(次回以降のスケジュール等につき、改めて入念に説明)、視察・講習会準備3、視察・講習会実施8、移動2
	各学校による活動の進捗状況確認(約6ヶ月間)	18	関係者との連絡等業務6、移動12(1泊2日x6回)
	フォローアップ会(1)(8回)の実施	12	関係者との連絡等業務1、準備1、フォローアップ会開催8、移動2
	フォローアップ会(2)(巡回説明)の実施(3日間で10ヶ所巡回)	7	関係者との連絡等業務1、準備1、巡回説明(Comカオラック対象校はIAカオラックにて、IDENカオラック・コミュニティと共に実施。その他は、各IDEN最寄り校にIDEN担当者を招き説明)。移動2
	フォローアップ会(3)(8回)の実施(中間状況確認等含む)	12	関係者との連絡等業務1、準備1、フォローアップ会開催8、移動2
	報告書作成等	3	
合計		150	

⁷ ルーガ州、カオラック州共に、基本的には、連絡等業務に関してはダカールにて実施することを想定。

⁸ ルーガ州、カオラック州共に、基本的には、各種準備については対象州において実施することを想定。

3) ローカルコンサルタント（技術部門担当）の配置日数内訳

活動段階	内容	日数	日数内訳
活動の立ち上げとトライアル実施(ルーガ州における現場視察・講習会6回中2回をトライアルとして実施)		20	ソフコン管理者と共に活動
ルーガ 第1 グループ	建設現場視察・講習会(トライアル対象以外の4回)の実施	9	準備3、視察会4、移動2
	ダカールにおける瑕疵検査同行	2	
	ダカールにおける教訓整理	1	
	フォローアップ会(2)(巡回説明)の実施(2日間で8ヶ所巡回)	5	準備1、巡回説明(Com ルーガ対象校はIAルーガにて、IDENルーガと共に実施。その他は、各IDEN最寄り校にIDEN担当者を招き説明)。移動2
	フォローアップ会(3)(6回)の実施(瑕疵検査状況確認等含む)	9	準備1、フォローアップ会6回、移動2
カオラック 第2 グループ	建設現場視察・講習会(8回)の実施	13	準備3、視察会8、移動2
	フォローアップ会(2)(巡回説明)の実施(3日間で10ヶ所巡回)	6	準備1、巡回説明(Comカオラック対象校はIAカオラックにて、IDENカオラック・コミュニケーションと共に実施。その他は、各IDEN最寄り校にIDEN担当者を招き説明)。移動2
	フォローアップ会(3)(8回)の実施(中間状況確認等含む)	11	準備1、フォローアップ会8回(エンドラインサーベイ含む)、移動2
合計		76	

6. ソフトコンポーネントの実施リソースの調達方法

ソフコン実施におけるローカルリソースとしては、現地事情を熟知し、コミュニティ開発、住民参加、啓発活動、研修実施等の促進や支援を行なっているローカル NGO への再委託が適切と考える。セネガル国においては、上述の活動を展開している NGO が複数存在しており、本ソフコン活動に関しては、当該活動に豊富な実績を有する NGO と、建築的観点から、現場視察やメンテナンス方法の説明、及び施設の構造説明等が円滑に実施可能な建築コンサルタントを調達する。

NGO の候補としては、過去の無償案件や他ドナーのソフコン活動に関与した、或いは PAES・PAES 2 を含む技術協力プロジェクトに関わったローカル NGO などが挙げられる。特に、我が国支援のプロジェクトにおいて実績を有する場合には、それらの案件における教訓等が有効活用され得る。

建築コンサルタントについては、本プロジェクトで整備される施設に関する情報を有していること、及び的確なメンテナンス方法の説明ができることが求められる。従って、本プロジェクトの入札補助及び施工監理業務を担当する本邦コンサルタントとの連携が重要であり、ソフコン活動に関しても、本体事業の設計監理コンサルタントに委託することが望ましい。

コミュニティ開発支援無償資金協力制度では、通常、相手国政府と契約を行う調達代理

機関が活動全体を管理しローカルリソースを調達する。しかし、本ソフトコン活動は、施設整備の段階、及び瑕疵検査時に実施することによって、より効果が現れると考えられる活動に特化して実施することから、ローカルリソースへの委託額は必要最小限に抑えられることになる。そのため、通常どおり調達代理機関による公示・審査を通じた調達を行うと、委託額と調達に要する費用との間に不均衡が生じると考えられる。よって、本邦コンサルタントが施工監理の一貫としてソフトコンを実施・管理することとでその不均衡を是正し、本邦コンサルタントがローカルリソースを調達することとする。本邦コンサルタントは準備調査を実施し、且つ本ソフトコン計画を立案したコンサルタントであるため、計画から実施までを一貫して円滑に監理・実施することが可能となる。

7. ソフトコンポーネントの実施工程

別添1 参照

8. ソフトコンポーネントの成果品

(1) 資料

- ・ 改定版マニュアル（該当する場合）
- ・ 年間・中期維持管理計画
- ・ IA、IDEN に提供した建設進捗情報
- ・ アンケート（講習会時、及びフォローアップ会開催時における参加者対象：事前・事後比較）

(2) 報告書

提出を求める報告書とその目次（案）は以下のとおり。

報告書	目次（案）
中間報告書（ルーガ州における活動報告）	1. マニュアルの改善 1-1 既存マニュアルの改善すべき点 1-2 改善後のマニュアル 1-3 印刷・配布状況 2. 建設現場視察・講習会 2-1 活動日程と視察時点の施設の状況 2-2 参加者リスト 2-3 講習内容 2-4 参加者からのコメント 3. 各学校における活動 3-1 IA、IDEN に提供した情報 3-2 各学校（または自治体）における情報共有状況 3-3 モニタリング体制 4. フォローアップ会(1)、(2)及び(3) 4-1 活動日程 4-2 参加者リスト

	4-3 講習内容 4-4 「ダカール/ティエス計画」からの教訓 4-5 ルーガ州からの教訓 4-6 年間・中期維持管理計画策定実施状況 4-7 参加者へのアンケート結果 5. カオラック州の活動に向けての提言
最終報告書（2州での活動のまとめ）	1. 上記1～4に同じ（但し、4-5は「カオラック州からの中間時点における教訓」とする） 2. その他 技プロとの情報交換、など

9. 相手国実施機関の責務

(1) ソフトコンポーネント活動実施中の責務

1) 各活動の実施と参加

本ソフコン実施にあたっては、IA及びIDENが実施主体となり各学校に指示を行い、各学校がステークホルダーの参加を働きかける必要がある（新設校については、IA、IDENが直接働きかける）。校長、教員、生徒、CGEのみならず、広く地域住民や自治体を巻き込むことから、ソフコン対象期間中は、連絡や活動の実施等に係る調整を入念に行うことが求められる。また、特に、ソフコン活動終了後、各関係者が積極的に継続参画するよう、IA、及びIDENは定期的にフォローし、活動状況のモニタリングを継続する。

各段階におけるステークホルダーの役割は以下の表のとおり。

対象	立ち上げ段階	建設現場視察・講習会の実施段階 (ブロック内の1校で実施)	各学校による活動段階 (各学校で実施)	フォローアップ段階 (ブロック内の1校で実施)
IA、IDEN (中学校はIA 管轄下にあるが、物理的に近いIDENがIAを補佐をする)	ソフコン内容の確認、責任分担の確認、参加	<ul style="list-style-type: none"> 活動の確認 自治体と学校への連絡 参加 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の確認 自治体と学校への連絡 建設進捗情報を学校または自治体へ送付 情報共有状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の確認 自治体と学校への連絡 参加
自治体	—	<ul style="list-style-type: none"> 参加 	<ul style="list-style-type: none"> 建設進捗情報の共有 年間・中期維持管理計画作成と実施への関与 	<ul style="list-style-type: none"> 参加
学校	—	<ul style="list-style-type: none"> 参加 自治体、CGE、APE、地域住民との連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> 建設進捗情報の共有 年間・中期維持管理計画の作成・実施 CGE、APE、地域住民との連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> 参加 自治体、CGE、APE、地域住民との連絡調整
CGE、APE、地域住民	—	<ul style="list-style-type: none"> 参加 	<ul style="list-style-type: none"> 建設進捗情報の共有 年間・中期維持管理計画の作成・実施への関与 	<ul style="list-style-type: none"> 参加

2) 活動に係る費用の確保

各ステークホルダーは各活動に参加するために必要な費用を確保する必要がある。

各関係者が学校運営・維持管理にオーナーシップをもって臨むことが基本となるが、費用の確保については、両国双方で確認を行い、先方負担事項として合意議事録に記載する。想定される経費の項目は以下のとおり。

	立ち上げ 段階	建設現場視察・講習会 の実施段階 (ブロックのうち1校で 実施)	各学校による活 動段階 (各学校で実施)	フォローアップ段階 (ブロックのうち1校で 実施)
IA、IDEN	交通費	開催校までの交通費、 日当(セネガルの規 定・慣習に則る)	不要	開催校までの交通費、 日当(セネガルの規 定・慣習に則る)
自治体	—	開催校までの交通費	不要	開催校までの交通費
学校	—	開催校までの交通費	不要	開催校までの交通費
CGE、APE、 地域住民	—	開催校までの交通費	不要	開催校までの交通費

(6) ソフトコンポーネント活動実施後の責務

1) モニタリング

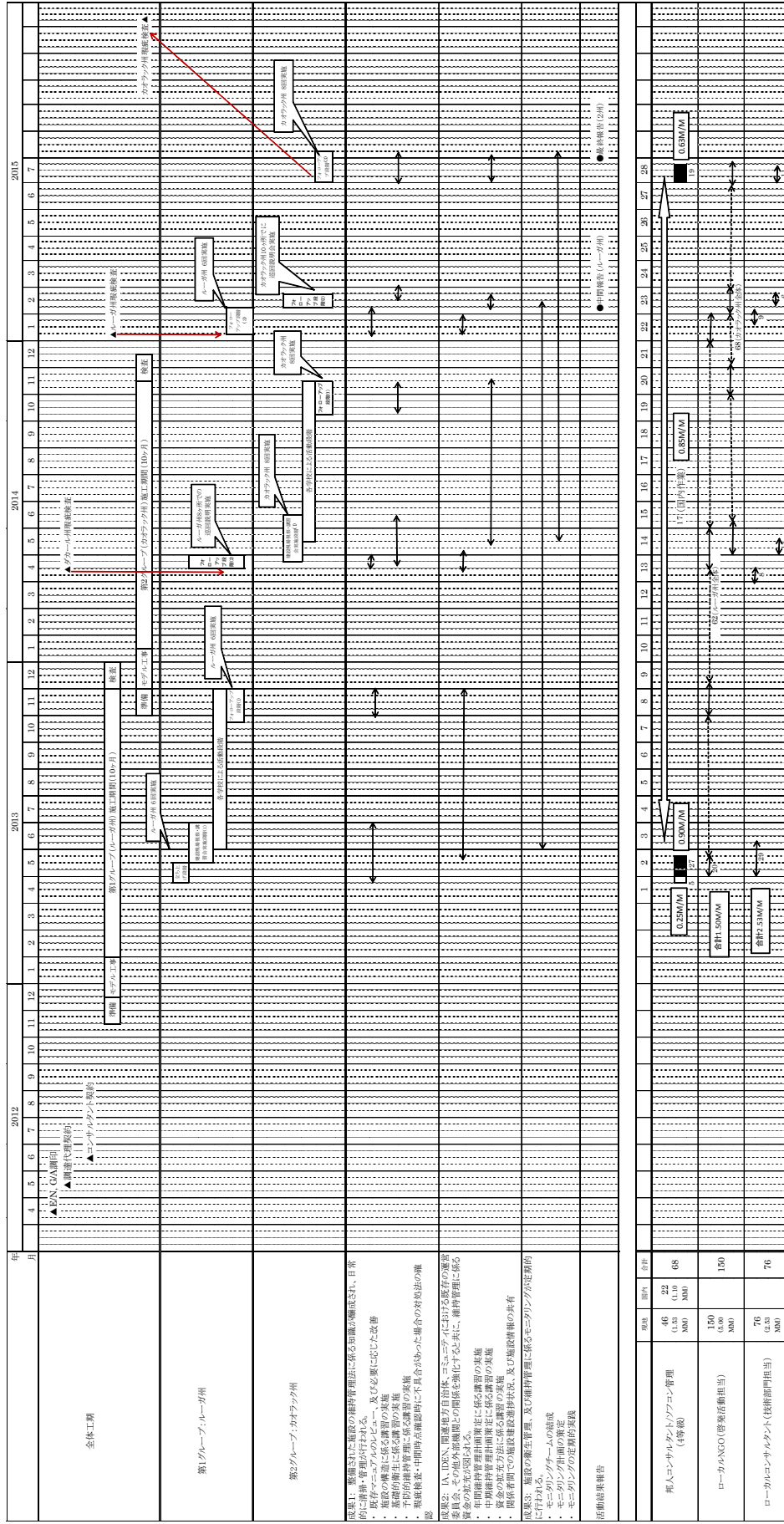
本ソフコン活動で啓発を受けた関係者が、プロジェクト目標及び上位目標発現の方向に向かうように、IA 及び IDEN は適宜助言の提示やモニタリングを行う。特に、ルーガ州における瑕疵検査、及びカオラック州での施工検査後から瑕疵検査における中間時点までが本計画に含まれていることから、新施設開校1年後、または半年後の状態を関係者が共に確認することで、施工上の不具合のみならず、それぞれの学校における施設使用上の問題点に係る共通認識を持つことができるようになる。継続的な定期モニタリングを通して、ソフコン活動における習得事項の実践に加え、瑕疵検査時に提示される各々の状態に則した対処法、及び今後の改善点等が各校で実践されるよう促進する。

2) 学校運営・維持管理費用の確保

学校の運営・維持管理に関する費用は、教育省、地方自治体、生徒からの徴収金によって賄われている。地方分権政策に伴い、学校の運営・維持管理は地方自治体が責任を持つことになっているが、自治体によって援助額に格差が生じている。自治体及び地域住民は、学校運営に関心を持ち、維持管理の必要性を理解し、費用の確保に積極的に協力する必要がある。

以上

別添1 ソフトコンポーネント実施工程表



資料6 参考資料

No.	名称	形態	オリジナル・コピー	発行機関	発行年
1	2002年7月2日付PDEF管理機関の設置・組織・機能に係る大統領令	図書	コピー	教育省	2002
2	1991年2月16日付教育基本法第91-22号を変更・補完する法律第2004-37号	図書	コピー	教育省	2004
3	教育・訓練10ヶ年計画(PDEF)フェーズ3	データ	コピー	教育省	2009
4	教育セクター形成に係る通達	データ	コピー	教育省	2009
5	小学校における入学金、転校料禁止に係る通達	図書	コピー	教育省	2010
6	教育省学年次統計2009/2010	図書	オリジナル	教育省	2010
7	地方教員研修センター設置に係る法令	図書	コピー	教育省	2011
8	教育への10年投資	図書	オリジナル	DPRE	2008
9	教育省2008/09統計速報(パンフレット)	図書	オリジナル	DPRE	2009
10	国家教育状況報告書	図書	オリジナル	DPRE	2010
11	ルーガ州、及びカオラック州における学校建設計画2006-2011	データ	コピー	DPRE	2011
12	対象校における2011年度学校予算	図書、データ	コピー	DAGE	2011
13	県別学校予算の推移(2008~2011年度)	データ	コピー	DAGE	2011
14	教育セクター中期セクター支出枠組み(2011/2013)	図書	オリジナル	DAGE	2011
15	小学校・中学校用配布教材(単価)	データ	コピー	DAGE総務機材局	2011
16	教員給与表	データ	コピー	DAGE	-
17	教科別シラバス	データ	コピー	中等教育局	2010
18	教材仕様書(前期・後期中等学校)	図書	コピー	中等教育局	2010
19	中学校カリキュラム	データ	コピー	中等教育局	2011
20	ルーガ州教育開発計画(PRDE)	データ	コピー	IA ルーガ	2009
21	ルーガ州教育関連統計(2006/07-2010/11)	図書、データ	コピー	IA ルーガ	2011
22	カオラック州教育開発計画(PRDE)	図書	コピー	IA カオラック	2009
23	カオラック州教育関連統計(2006/07-2010/11)	データ	コピー	IA カオラック	2011
24	ルーガ州ケベメール県教育関連統計(2006/07-2010/11)	図書	コピー	IDEN ケベメール	2011
25	ルーガ州ルーガ県教育開発計画(PDDE)	図書	コピー	IDEN ルーガ	2009
26	ルーガ州ルーガ県教育関連統計(2006/07-2010/11)	図書	コピー	IDEN ルーガ	2011
27	ルーガ州リンゲール県教育開発計画(PDDE)(抜粋)	図書	コピー	IDEN リンゲール	2009
28	ルーガ州リンゲール県教育関連統計(2006/07-2010/11)	図書	コピー	IDEN リンゲール	2011
29	カオラック州カオラック・コミュニティ教育開発計画(PDDE)	データ	コピー	IDEN カオラック・コミュニティ	2009
30	カオラック州カオラック・コミュニティ教育関連統計(2006/07-2010/11)	図書	コピー	IDEN カオラック・コミュニティ	2011
31	カオラック州カオラック・デパートメント教育開発計画(PDDE)	図書	コピー	IDEN カオラック・デパートメント	2009
32	カオラック州カオラック・デパートメント教育関連統計(2006/07-2010/11)	図書	コピー	IDEN カオラック・デパートメント	2011
33	カオラック州ニヨロドゥリッ県教育開発計画(PDDE)	データ	コピー	IDENニヨロドゥリッ	2009
34	カオラック州ニヨロドゥリッ県教育関連統計(2006/07-2010/11)	図書	コピー	IDENニヨロドゥリッ	2011
35	カオラック州ギンギネオ県教育開発計画(PDDE)	データ	コピー	IDENギンギネオ	2009
36	カオラック州ギンギネオ県教育関連統計(2006/07-2010/11)	データ	コピー	IDENギンギネオ	2011
37	教育環境改善プロジェクト(PAES)・フェーズ2 学校運営委員会ガイド(3冊セット)	図書	オリジナル	PAES2	2011
38	アメリカ国際開発庁(USAID)教育プログラム	データ	コピー	USAID	2009
39	初等教育支援プロジェクト(CAREES)終了時評価 経過総括(抜粋)	データ	コピー	カナダ国際開発庁	-
40	Aide et Action 各種パンフレット(年次報告書含む)	図書	オリジナル	Aide et Action	-
41	Council, Etudes, et Développement D'entreprises (Ceden) パンフレット	データ	コピー	Ceden	-
42	入札図書(世界銀行(ファスト・トラック))	データ	コピー	AGETIP	-